

**平成30年度(2018年度)  
函館市地域包括支援センター活動実績**

# 目 次

○ 函館市の特徴と課題	1
<b>【介護予防事業】</b>	
○ 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	
1 健康づくり教室	2
2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動	3
<b>【包括的支援事業】</b>	
○ 総合相談支援業務	
1 地域包括支援ネットワークの構築	4
2 実態把握	6
3 総合相談	7
4 見守りネットワーク事業	8
5 保健福祉サービス等利用調整	12
6 住民に対する広報・啓発活動	12
○ 権利擁護業務	
1 権利擁護相談対応状況	13
2 スキルアップ対策	16
3 住民等に対する広報・啓発活動	16
○ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	
1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況	17
2 介護支援専門員への個別支援	19
○ 認知症総合支援事業	
1 認知症初期集中支援推進事業	25
2 認知症地域支援・ケア向上推進事業	26
○ 地域ケア会議推進事業	
1 地域ケア会議開催状況	28
2 住民等に対する広報・啓発活動	33
<b>【任意事業】</b>	
1 住宅改修支援事業	34

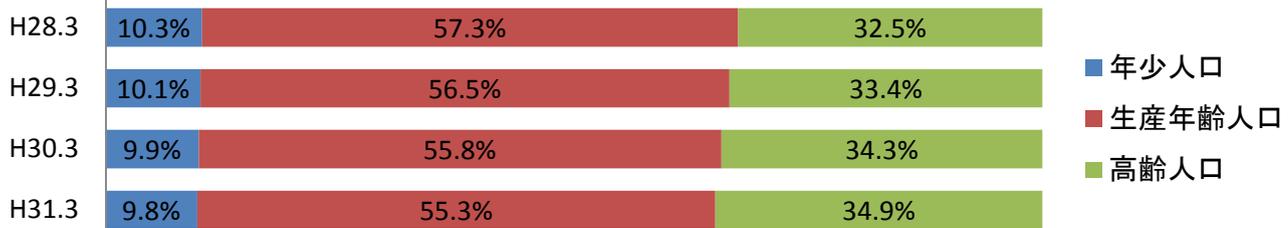
# 函館市の特徴と課題

## 1. 人口の推移と年齢構成

(人・%)

	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	割合
年少人口	27,977	27,356	26,580	25,783	25,070	9.8%
生産年齢人口	156,780	152,760	149,062	145,235	142,026	55.3%
高齢人口	84,871	86,657	88,064	89,156	89,676	34.9%
(再掲) 65～74歳	43,056	43,840	44,041	44,393	43,798	17.1%
(再掲) 75歳以上	41,815	42,817	44,023	44,763	45,878	17.9%

### 年齢構成割合の推移



## 2. 世帯構成(H31.3末)

(件・%)

	世帯数	割合
高齢者単身世帯	34,732	24.5
高齢者複数世帯	18,296	12.9
その他	88,779	62.6

## 3. 介護保険サービス事業所数(H31.3末)

(件)

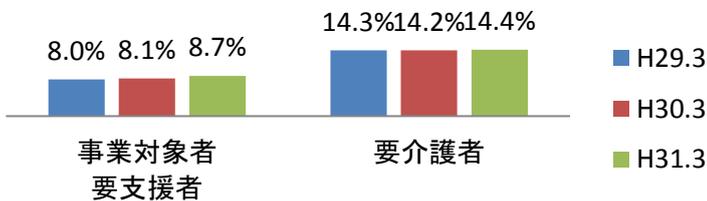
居宅介護支援・小規模多機能型等	129
地域密着型サービス(上記除く)	128

## 4. 事業対象者、要支援・要介護認定者の状況

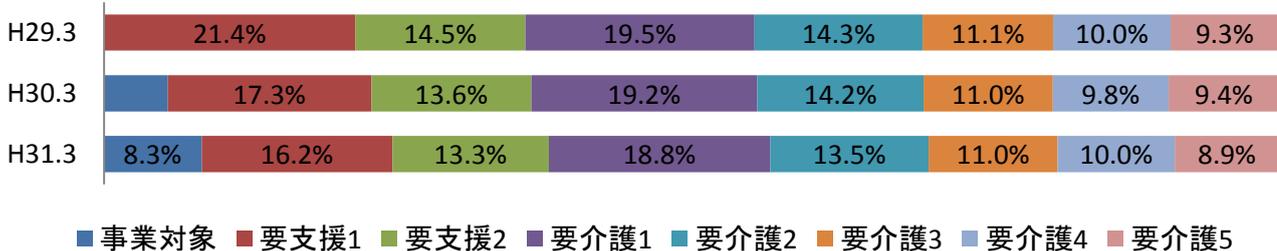
(人・%)

	H29.3		H30.3		H31.3	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
事業対象者	—	—	1,081	1.2%	1,722	1.9%
要支援認定者	7,029	8.0%	6,172	6.9%	6,114	6.8%
要介護認定者	12,583	14.3%	12,702	14.2%	12,876	14.4%
事業対象・要支援認定者の給付実績	4,464	63.5%	4,607	63.5%	4,870	62.1%

### 認定率の推移



### 介護度の内訳の推移



# 【介護予防事業】高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

## 1 健康づくり教室

### (1) 新規教室実施状況

(人・回)

センター名	実施回数	会場	従事者数			参加者数			1人の平均参加回数	アンケート結果 (維持・向上した人の割合)				平成31年度の方向性 (平成30年度末時点)
			実数	延数	1回平均	実数	延数	1回平均		主観的健康観	運動・趣味活動	外出頻度	社会活動頻度	
あさひ	12	弁天町会館	8	46	3.8	12	97	8.1	8.1	77.8%	100.0%	100.0%	88.9%	継続して開催支援
こん中央	16	大縄町会館	4	30	1.9	20	162	10.1	8.1	60.0%	60.0%	60.0%	100.0%	継続して開催支援
ときとう	12	コミュニティホールこん	3	24	2.0	27	202	16.8	7.5	53.3%	73.3%	86.7%	86.7%	継続して開催支援
ゆのかわ	13	函館アリーナ①	7	28	2.2	17	148	11.4	8.7	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	終了
	12	函館アリーナ②	7	28	2.3	57	451	37.6	7.9	100.0%	94.7%	94.7%	94.7%	自主活動グループへ移行
たかおか	12	新湊町会館	9	43	3.6	32	251	20.9	7.8	94.4%	100.0%	94.4%	100.0%	継続して開催支援
西堀	24	富岡町一丁目町会館	21	89	3.7	19	340	14.2	17.9	78.6%	64.3%	85.7%	85.7%	継続して開催支援
亀田	15	美原グリーン町会	9	58	3.9	16	133	8.9	8.3	37.5%	75.0%	62.5%	75.0%	終了
神山	12	伊藤道場	28	56	4.7	23	153	12.8	6.7	50.0%	85.7%	85.7%	78.6%	継続して開催支援
よろこび	13	亀田本町会館	11	34	2.6	18	211	16.2	11.7	95.0%	100.0%	80.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
	18	桔梗西部町会館	17	89	4.9	20	322	17.9	16.1	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	自主活動グループへ移行
社協	12	尻岸内会館	6	32	2.7	14	83	6.9	5.9	80.0%	80.0%	60.0%	80.0%	継続して開催支援
合計	171		130	557	3.3	275	2,553	14.9	9.3					
H29実績	224		182	847	3.8	274	2,817	12.6	10.3					

※従事者数には、センター職員のほか、外部講師やボランティアも含まれる。

### (2) 継続教室実施状況

(回)

センター名	実施年数	会場	支援回数	平成31年度の方向性 (平成30年度末時点)
あさひ	2年目	第二船見町会館	14	継続して開催支援
こん中央	2年目	若松町会館	12	自主活動グループへ移行
	4年目	新川町会館	16	自主活動グループへ移行
	10年目	救護施設明和園	17	継続して開催支援
ときとう	2年目	人見町会館	22	自主活動グループへ移行
たかおか	2年目	古川町会館	12	自主活動グループへ移行
亀田	2年目	アメニティーコレクトピア	21	終了
神山	2年目	花園団地集会所	12	自主活動グループへ移行
社協	2年目	戸井西部総合センター	12	終了

※ゆのかわ、西堀、よろこびは実施なし

- ・新規教室は、平成29年度と比較して2教室少ない12教室の実施となったが、1教室あたりの平均参加者数が19.6人から22.9人に増加したため、参加者数は維持することができた。
- ・12教室のうち、3教室が自主化し、7教室が自主化に向けて継続支援を行うことになった。自主化・継続支援となった教室の割合は83.3%であり、運営方針の重点事項でもある「住民主体の活動の場の拡充による地域づくり」が推進できていると考えられる。
- ・平成29年度に自主化した教室が多かったため、継続教室は、4教室少ない9教室の実施となり、そのうち55.6%にあたる5教室が自主化した。教室開設から1~2年で自主化する教室が増加しており、参加者の意識醸成やリーダーの養成が効果的に行なっていると評価できる。
- ・新規教室2教室と継続教室2教室が終了となった。要因としては、担い手不足が最も多く、その他の介護予防事業への移行、町会・会館の廃止があった。活動の継続を希望する参加者は多いため、他のグループと統合したり、他事業での支援を検討するなどの支援が行われている。
- ・自主活動グループは、38グループから47グループに大幅に増加している。9圏域において、3~8グループが活動しており、新規教室を実施することが困難になっている圏域があるほか、自主化してから長期間経過した教室ではマンネリ化や参加者数の減少などの課題を抱えているグループもあり、圏域の特性に応じた事業展開が行えるよう、事業の在り方の検討が必要と考えられる。

(参考) 自主活動グループ

センター名	新規教室 開始年度	会 場
あさひ	H22	宝来町会館
	H24	東川町会館
	H25	女性センター
	H25	弥生小学校
	H28	入舟町会館
	H28	末広町会館
	H29	大森町会館
こん中央	H22	千代台町会館
	H26	特別養護老人ホーム松濤
	H26	上新川町会館
	H27	終末処理場集会所
ときとう	H20	乃木町会館(※1)
	H24	柏木町会館
	H24	梁川町会館
	H26	道営柳町団地
	H26	教育大函館校(八幡町)
	H29	五稜郭町会館
	H29	時任町会館
ゆのかわ	H21	湯川1丁目町会
	H23	湯川3丁目町会館
	H23	花園町団地4号棟(花園町団地)
	H25	日吉3丁目団地集会所
	H25	ホテルテトラ湯の川
	H26	深掘町会館(深堀町会)
	H26	深掘町会館(川原町会)
	H29	深駒町会館

センター名	新規教室 開始年度	会 場
たかおか	H22	根崎生活館(高松町親交会)
	H25	榎本町会館
	H27	空港団地町会館
亀 田	H22	石川町会館
	H24	昭和町会館
	H27	美原商店街振興会館
神 山	H23	本通中央町会館
	H23	本通町会館
	H26	東山見晴団地町会館
	H28	ひばりが丘町会集会所
よろこび	H23	追分町会館
	H24	桔梗町会館
	H25	北浜町会館
	H28	亀田町民会館
	H28	亀田港町会館
	H29	桔梗交流福祉センター
社 協	H24	中浜会館
	H26	恵山コミュニティーセンター
	H26	社協戸井支所
	H27	柏野会館
	H29	介護付有料老人ホームとどほっけ

※1 センターの独自事業として開始

2 住民への介護予防に関する広報・啓発活動

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	2	3
こん中央	7	17
ときとう	13	3
ゆのかわ	9	2
たかおか	10	3
西 堀	1	4
亀 田	7	4
神 山	4	5
よろこび	9	5
社 協	10	28
合 計	72	74
H29実績	84	53

・広報紙・パンフレット配布による啓発回数が、平成29年度と比較して大幅に増加しており、住民に対し広く啓発が行えていると評価できる。

# 【包括的支援事業】総合相談支援業務

## 1 地域包括支援ネットワークの構築

### (1) 地域包括支援ネットワーク構築機関数

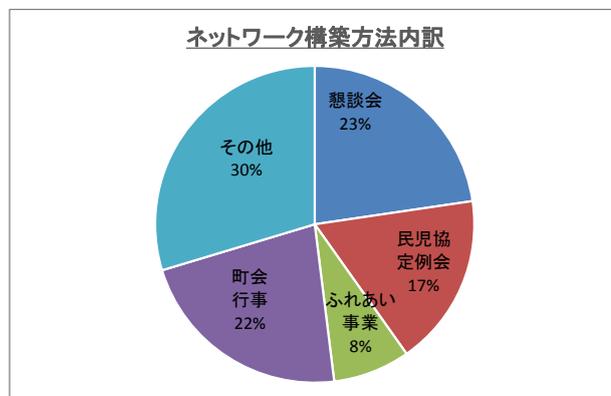
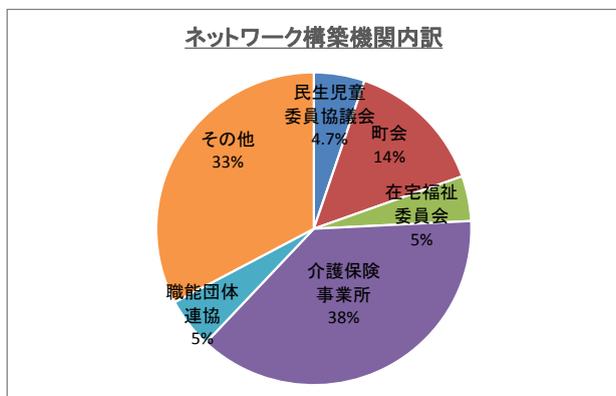
(機関)

センター名	民児協 方面	町会	在宅福祉 委員会	介護保険 事業所	(再) 地域密着	職能団体 連携	その他	合計	(再) 新規	その他の内訳
あさひ	3	5	1	26	11	3	6	44	5	あさひ小学校, コロポックルはこだて, 住宅型有料老人ホーム泰, 北洋銀行末広町支店, 有限会社ウジャト, ユニ・チャームメンリツケ
こん中央	4	15	3	21	12	1	29	73	16	あおい薬局, イトウ電気商会, 医療法人鴻仁会, 駅前郵便局, 小笹内科医院, 海岸郵便局, 株式会社創生事業団, 株式会社森川組, 北消防署大縄出張所, 共愛会病院, 住宅型有料老人ホームふかせ, 市生活支援課, 市総務部防災担当, そよかぜ家族会, 第1層生活支援コーディネーター, たけだクリニック, 地域福祉コーディネーター, 中部小学校, 巴中学校, 中島販売ひまわり会, 日本障害者・高齢者生活支援機構, 認知症の人を支える会, 函館駅前交番, 函館市社会福祉協議会, 函館新聞社, 函館バス株式会社, 北斗市食生活改善協議会, 有限会社ウィズ, ヨガインストラクター
ときとう	3	6	2	21	13	2	32	66	11	アサヒビール, おしま会計パートナーズ, 株式会社電通北海道函館支社, 株式会社プリントハウス, 亀田中学校, 共生型ハウス光風園, 鴻寿会グループ, 高齢者下宿よしみ, 今整形外科, 三和防災, 社会福祉法人函館一条, 住宅型有料老人ホームこうじゅ3号館, シルバーリング, 新都市五稜郭協議会, 千代ヶ岳小学校, 時任郵便局, 友の会(患者ボランティア会), ナリス化粧品, 認知症の人を支える会, 函館口腔保健センター, 函館五稜郭特別支援学校, 函館市社会福祉協議会, 函館市地域交流まちづくりセンター, 函館中央病院, 函館バスセンター, 深瀬医院, 北陸銀行五稜郭支店, 北海道銀行函館支店, 北海道函館中部高等学校, ホテル法華クラブ函館, 的場消防, ゆあさ社会福祉士事務所
ゆのかわ	2	12	4	21	16	1	9	49	12	川原町親和会, 北日吉小学校, 市総務部総務課, シニアマンション函館・花園, 富田病院, 函館競馬場, 函館市町会連合会, ベストケアサービス, 有限会社ウィズ
たかおか	2	9	2	10	6	5	12	40	6	(株)おせつかい, NPO法人日本サハリン協会, ウェルネス薬局湯の川店, 行政書士松田聡事務所, 総合メディカルグループ前田産業株式会社, 道南勤医協函館北病院, 函館臨床福祉専門学校, 法テラス函館法律事務所, 有限会社北海道ファーマ
西堀	2	6	1	16	9	5	8	38	11	アサヒ調剤薬局鍛冶支店, アサヒ調剤薬局昭和支店, イトーヨーカドー函館店, 道南勤医協函館北病院, なかよし会, 函館市社会福祉協議会, 函館渡辺病院, ホーム薬局藤城店
亀田	3	8	2	38	20	4	37	92	23	赤川小学校, 赤川清流会, 赤川中学校, 石川町青葉子供育成会, 石川ノースフォックス(少年野球団), 石川郵便局, イトーヨーカドー, NPO法人ウィメンズネット函館, NPO法人スプリングボール, 桔梗小学校, 北美原小学校, くるみ学園, サービス付高齢者住宅亀田日和, サービス付高齢者住宅ケアヴィレッジ湯川, サービス付高齢者向け住宅SOMPOの家S 函館昭和, サービス付高齢者向け住宅ラフシップ石川, 社会福祉法人幸成会, 社会福祉法人侑愛会, 住宅都市施設公社, JA函館市亀田, 障がい者グループホームばれっと, 道南勤医協函館北病院, 函館高等支援学校, 函館市社会福祉協議会, 函館市成年後見センター, 函館鳥屋書店, 函館弁護士会, 函館北高校, 函館臨床福祉専門学校, 平和興産株式会社, 北海道教育大学函館校, ミسوبはこだて, 侑愛会障がい者グループホーム, (有)三和印刷, ライフマップ函館, レイス治療院
神山	2	4	5	12	10	3		26	8	イトーヨーカドー函館店, 函館市社会福祉協議会, 函館中央警察署警備課, 南本通小学校, 南本通小学校PTA
よろこび	3	8	4	24	17	2	24	65	11	医療法人鴻寿会, 亀田港母親クラブ, 桔梗寿会, 桔梗小学校, 桔梗小学校PTA, 桔梗スポーツ少年団, 桔梗中学校, 桔梗保育園, ききょうホープス, 桔梗松葉会, 桔梗郵便局, 北消防署, 更生保護女性会, 五稜郭中学校, 社会福祉法人七飯有隣会, 住宅型有料老人ホームききょう, 宝皇寺, 中の沢小学校, 函館市社会福祉協議会, 保護司会, ゆあさ社会福祉士事務所, レイス治療院七飯, 老人クラブ北浜老寿会, 老人クラブ北寿会
社協	4	4	1	14	5	2	19	44	2	恵山支所市民福祉課, さくら薬局みなみかやべ店, 市湯川福祉課, 市立函館恵山病院, 市立函館南茅部病院, 杉山クリニック, 潮光中学校, 戸井支所市民福祉課, 戸井西小学校, 東部保健事務所, 概法華クリニック, 函館市社会福祉協議会, 函館市社会福祉協議会戸井支所, 函館社協概法華支所, 東消防署日ノ浜出張所, 法テラス函館法律事務所, 皆川調剤薬局, 南茅部支所市民福祉課, レインボー薬局戸井店
合計	28	77	25	203	119	28	176	537	105	
H29実績	32	104	24	199	140	39	272	670	—	

(2) 地域包括支援ネットワーク構築数 (回)

センター名	懇談会	民児協 定例会	ふれあい 事業	町会 行事	その他	合計
あさひ	6	3	0	1	7	17
こん中央	1	14	1	14	3	33
ときとう	6	14	4	6	5	35
ゆのかわ	3	1	6	1	0	11
たかおか	8	0	0	4	0	12
西堀	14	0	0	6	7	27
亀田	7	1	7	17	2	34
神山	6	2	0	2	6	16
よろこび	3	4	1	6	8	22
社協	4	6	1	0	38	49
合計	58	45	20	57	76	256
H29実績	85	52	20	42	103	287

- ・民生児童委員、町会とのネットワーク構築数は減少したが、すでに顔の見える関係となっているため、懇談会や定例会への参加が減少し、個別ケースの支援や地域ケア会議等の事業を通じたネットワーク構築など、関わり方が多様化したためと考えられる。
- ・ただし、町会については、町会行事への参加によるネットワーク構築数が増加しているものの、ネットワーク構築機関数は減少しており、町会によって関わりの濃淡があると考えられる。
- ・在宅福祉委員については、社会福祉協議会の協力を得て、各センターに委員会の連絡先を周知したり、市からセンターの周知を行ったところ、総合相談の相談件数や地域ケア会議の参集者数が増加するなど、徐々にネットワークが構築されてきていると評価できる。しかし、ネットワーク構築機関数は横ばいで、繋がりのない委員会もまだ多いことから、センターからアプローチするなど、今後も継続して連携を図る必要がある。
- ・その他の機関数は減少したが、計上方法の見直しによるものと考えられ、いずれのセンターも、学校、障がいサービス事業所、医療機関、民間事業所等とネットワーク構築を行うことができている。



(参考)

①地域密着型サービス事業所運営推進会議

(件・回)

センター名	事業所数	参加回数
あさひ	9	24
こん中央	17	32
ときとう	16	33
ゆのかわ	18	43
たかおか	7	25
西堀	9	34
亀田	21	55
神山	10	23
よろこび	18	41
社協	5	20
合計	130	330
H29実績	144	366

②地域ケア会議の参集者(関係分抜粋)

(回・人)

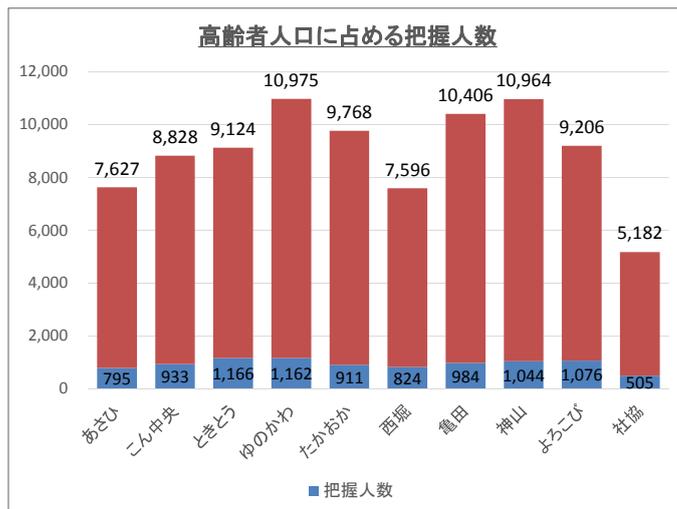
センター名	開催回数	民生委員	町会役員	在宅福祉
あさひ	8	9	3	5
こん中央	10	34	42	14
ときとう	10	19	8	27
ゆのかわ	12	4	48	35
たかおか	9	17	41	17
西堀	8	16	19	1
亀田	10	20	3	12
神山	13	28	16	1
よろこび	11	19	16	7
社協	5	9	1	0
合計	96	175	197	119
H29実績	96	164	241	77

## 2 実態把握

### (1) 実態把握数の推移と高齢者人口に対する実態把握実施率

(人)

センター名	高齢者人口 (H31.3末)	把握人数		把握率
			(再) 新規把握	
あさひ	7,627	795	318	10.4%
こん中央	8,828	933	409	10.6%
ときとう	9,124	1,166	645	12.8%
ゆのかわ	10,975	1,162	469	10.6%
たかおか	9,768	911	351	9.3%
西堀	7,596	824	448	10.8%
亀田	10,406	984	507	9.5%
神山	10,964	1,044	359	9.5%
よろこび	9,206	1,076	493	11.7%
社協	5,182	505	201	9.7%
合計	89,676	9,400	4,200	10.5%
H29実績	89,156	9,020	—	10.1%



### (2) 項目別内訳

(人)

センター名	平成30年度実態把握数(A)				介護予防支援事業 (B/A)	地域支援事業 (C+D/A)	再掲:その他 (D/A)	計画数値に対する 達成率	
	予防 (B)	見守り (C)	その他 (D)	計画数値				達成率	
あさひ	795	347	106	342	43.6%	56.4%	43.0%	774	102.7%
こん中央	933	457	71	405	49.0%	51.0%	43.4%	890	104.8%
ときとう	1,166	420	88	658	36.0%	64.0%	56.4%	931	125.2%
ゆのかわ	1,162	572	176	414	49.2%	50.8%	35.6%	1,119	103.8%
たかおか	911	404	56	451	44.3%	55.7%	49.5%	990	92.0%
西堀	824	276	164	384	33.5%	66.5%	46.6%	767	107.4%
亀田	984	353	148	483	35.9%	64.1%	49.1%	1,067	92.2%
神山	1,044	423	235	386	40.5%	59.5%	37.0%	1,128	92.6%
よろこび	1,076	474	38	564	44.1%	55.9%	52.4%	957	112.4%
社協	505	64	39	402	12.7%	87.3%	79.6%	527	95.8%
合計	9,400	3,790	1,121	4,489					
(再) 新規把握	4,200	787	916	2,497	40.3%	59.7%	47.8%	9,150	102.7%
構成割合	100.0%	40.3%	11.9%	47.8%					
H29実績	9,020	3,866	284	4,870					
構成割合	100.0%	42.9%	3.1%	54.0%	42.9%	57.1%	54.0%	9,387	96.1%

・平成29年度と比較し、実態把握数、実態把握率ともに増加し、6センターが計画数値を達成したほか、残りの4センターについても90%以上の達成率となった。要因としては、見守りネットワーク事業の実態把握を3クール実施したことが考えられる。

・実態把握数のうち44.7%が新規に把握した高齢者の数であり、圏域の高齢者の把握率は年々高まっていると評価できる。また、実際の支援においても、過去に実態把握をした情報に基づきスムーズな支援が行える機会が増加しているとのことで、今後も積極的な実態把握を行う必要がある。

### 3 総合相談

#### (1) 相談総合相談対応件数

(件)

センター名	対象者 案件数	相談 延件数
あさひ	856	1,331
こん中央	813	1,245
ときとう	1,120	1,686
ゆのかわ	1,237	1,545
たかおか	936	1,359
西堀	710	963
亀田	958	1,410
神山	940	1,358
よろこび	1,123	1,287
社協	832	1,143
合計	9,525	13,327
H29実績	11,415	14,563

#### (2) 相談形態内訳(延)

(件)

センター名	来所	電話	訪問	その他
あさひ	85	309	913	24
こん中央	59	522	648	16
ときとう	83	636	879	88
ゆのかわ	77	628	779	61
たかおか	81	563	698	17
西堀	131	464	362	6
亀田	110	543	734	23
神山	64	649	623	22
よろこび	58	345	882	2
社協	62	458	622	1
合計	810	5,117	7,140	260
H29実績	638	4,986	8,742	197

#### (3) 相談者の続柄内訳(重複あり)

(件)

センター名	本人	家族 親族	民生委員	町会 在宅福祉	知人 近隣	CM	介護保険 事業所	医療機関	行政機関	その他
あさひ	911	557	34	11	34	92	85	95	70	30
こん中央	430	393	33	8	37	170	30	105	126	20
ときとう	530	561	90	21	59	166	45	103	95	16
ゆのかわ	983	569	29	14	42	181	57	92	75	34
たかおか	759	639	30	18	32	176	99	88	56	30
西堀	474	475	26	2	15	119	29	80	25	24
亀田	656	450	43	6	17	126	27	110	52	30
神山	772	656	34	15	21	232	132	98	100	26
よろこび	855	437	44	12	18	100	23	58	60	39
社協	679	198	24	0	7	60	3	53	35	87
合計	7,049	4,935	387	107	282	1,422	530	882	694	336
H29実績	8,781	4,734	307	83	202	1,981	896	884	503	324

#### (4) 相談内容内訳(重複あり)

(件)

センター名	介護保険 総合事業	保健福祉 サービス	介護予防	健康	認知症	住まい	権利擁護	その他
あさひ	901	118	5	71	158	67	8	152
こん中央	968	151	19	51	99	111	33	10
ときとう	992	251	93	68	126	72	26	58
ゆのかわ	1,002	220	5	13	62	96	14	227
たかおか	1,062	62	10	106	88	91	21	161
西堀	695	131	18	33	64	51	14	74
亀田	904	157	60	58	114	73	17	201
神山	1,005	167	1	34	86	34	6	130
よろこび	694	113	365	21	75	46	7	70
社協	368	709	38	8	19	22	4	17
合計	8,591	2,079	614	463	891	663	150	1,100
H29実績	9,367	2,012	1,124	271	531	603	139	1,451

・相談件数は、平成29年度と比較し8.5%減少しているが、介護予防支援事業の対象者の相談についての計上方法を見直したことが要因であり、総合相談の相談件数はほぼ横ばいと考えられる。

・相談形態内訳の訪問による対応件数の減少や相談者内訳の本人、介護支援専門員(CM)、事業所からの相談の減少も、上記の理由によるものと考えられる。

・民生児童委員や町会・在宅福祉委員、知人・近隣住民からの相談が増加しており、平成29年度から、センターの重要課題として「誰かが異変に気づいたら相談できる地域づくり」を位置づけ、様々な事業に取り組んでいる効果と評価できる。

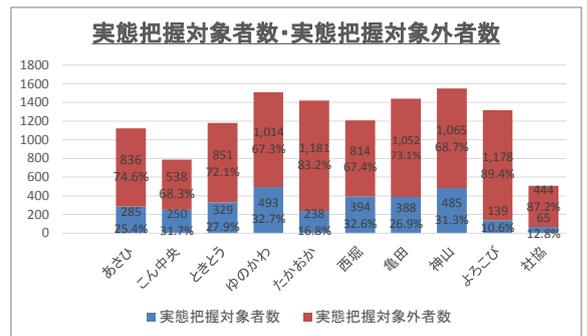
・ただし、権利擁護業務の困難事例の相談件数は横ばいで、実際の支援でも問題が重度化してから相談につながるケースも多いことから、今後も継続して、ネットワーク構築やセンターの周知を強化する必要がある。

#### 4 見守りネットワーク事業 ※平成29年度実績も含む

##### (1) 実態把握対象町の状況

(人)

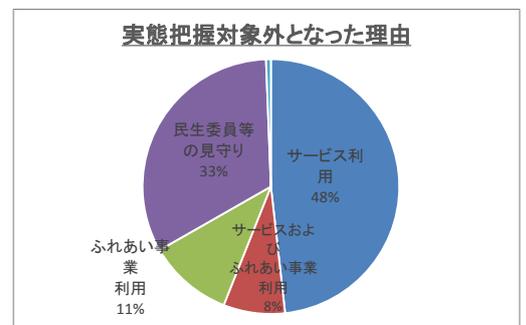
センター名	実施済町数	人口 (A)	後期高齢者人口		事業の対象者数 (独居・75歳以上)		実態把握対象		実態把握対象外	
			数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/C)	数 (E)	割合 (E/C)
あさひ	8	9,110	2,176	23.9%	1,121	51.5%	285	25.4%	836	74.6%
こん中央	7	9,343	1,566	16.8%	788	50.3%	250	31.7%	538	68.3%
ときとう	7	12,741	2,188	17.2%	1,180	53.9%	329	27.9%	851	72.1%
ゆのかわ	7	18,382	3,310	18.0%	1,507	45.5%	493	32.7%	1,014	67.3%
たかおか	20	15,832	2,966	18.7%	1,419	47.8%	238	16.8%	1,181	83.2%
西堀	5	15,235	2,587	17.0%	1,208	46.7%	394	32.6%	814	67.4%
亀田	11	23,435	3,113	13.3%	1,440	46.3%	388	26.9%	1,052	73.1%
神山	11	23,253	3,731	16.0%	1,550	41.5%	485	31.3%	1,065	68.7%
よろこび	11	17,796	2,568	14.4%	1,317	51.3%	139	10.6%	1,178	89.4%
社協	25	5,092	1,308	25.7%	509	38.9%	65	12.8%	444	87.2%
合計	112	150,219	25,513	17.0%	12,039	47.2%	3,066	25.5%	8,973	74.5%



##### (2) 実態把握対象外となった理由

(人)

センター名	実態把握対象外 (A)	サービスおよびふれあい事業利用		サービス利用		ふれあい事業利用		民生委員等の見守り		転出・転居・死亡	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	836	117	14.0%	386	46.2%	172	20.6%	156	18.7%	5	0.6%
こん中央	538	53	9.9%	282	52.4%	42	7.8%	158	29.4%	3	0.6%
ときとう	851	102	12.0%	406	47.7%	147	17.3%	192	22.6%	4	0.5%
ゆのかわ	1,014	66	6.5%	545	53.7%	82	8.1%	314	31.0%	7	0.7%
たかおか	1,181	92	7.8%	492	41.7%	166	14.1%	426	36.1%	5	0.4%
西堀	814	41	5.0%	442	54.3%	42	5.2%	285	35.0%	4	0.5%
亀田	1,052	45	4.3%	535	50.9%	48	4.6%	417	39.6%	7	0.7%
神山	1,065	59	5.5%	526	49.4%	111	10.4%	361	33.9%	8	0.8%
よろこび	1,178	105	8.9%	522	44.3%	134	11.4%	406	34.5%	11	0.9%
社協	444	16	3.6%	192	43.2%	17	3.8%	218	49.1%	1	0.2%
合計	8,973	696	7.8%	4,328	48.2%	961	10.7%	2,933	32.7%	55	0.6%



・事業対象者（75歳以上・単身世帯）のうち、74.5%が実態把握対象外となった。65歳以上・単身世帯への実態把握実施時の79.1%からは減少し、65歳以上・複数世帯への実態把握時の55.1%からは増加した。

・対象年齢を65歳以上から75歳以上へ引き上げたため、介護保険サービス利用者が56.0%、ふれあい事業利用者が18.5%を占め、すでに何らかの支援や見守りを受けている方が多かった。

(3) 実態把握結果(実態把握実施者)

(人)

センター名	実態把握対象 (A)	実態把握実施者		支援の必要性の有無				見守りの有無			
				あり		なし		あり		なし	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/B)	数 (E)	割合 (E/B)	数 (F)	割合 (F/B)
あさひ	285	142	49.8%	12	8.5%	130	91.5%	139	97.9%	3	2.1%
こん中央	250	90	36.0%	9	10.0%	81	90.0%	84	93.3%	6	6.7%
ときとう	329	111	33.7%	9	8.1%	102	91.9%	109	98.2%	2	1.8%
ゆのかわ	493	233	47.3%	26	11.2%	207	88.8%	230	98.7%	3	1.3%
たかおか	238	108	45.4%	6	5.6%	102	94.4%	105	97.2%	3	2.8%
西堀	394	205	52.0%	13	6.3%	192	93.7%	201	98.0%	4	2.0%
亀田	388	191	49.2%	8	4.2%	183	95.8%	188	98.4%	3	1.6%
神山	485	229	47.2%	24	10.5%	205	89.5%	228	99.6%	2	0.9%
よろこび	139	57	41.0%	4	7.0%	53	93.0%	57	100.0%	0	0.0%
社協	65	58	89.2%	0	0.0%	58	100.0%	58	100.0%	0	0.0%
合計	3,066	1,424	46.4%	111	7.8%	1,313	92.2%	1,399	98.2%	26	1.8%

【参考①:支援が必要な理由】

(人)

センター名	支援の必要性あり (A)	支援が必要な理由(重複あり)											
		身体機能低下		認知機能低下		健康問題		経済問題		孤立		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)	数 (G)	割合 (G/A)
あさひ	12	11	91.7%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	8.3%
こん中央	9	4	44.4%	2	22.2%	2	22.2%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%
ときとう	9	5	55.6%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
ゆのかわ	26	14	53.8%	5	19.2%	5	19.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%
たかおか	6	5	83.3%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
西堀	13	5	38.5%	3	23.1%	0	0.0%	1	7.7%	3	23.1%	3	23.1%
亀田	8	4	50.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	2	25.0%	1	12.5%
神山	24	17	70.8%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%	3	12.5%	1	4.2%
よろこび	4	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
社協	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	111	67	60.4%	13	11.7%	12	10.8%	2	1.8%	11	9.9%	9	8.1%

【参考②:支援内容】

(人)

センター名	支援の必要性あり (A)	支援の内容(重複あり)															
		介護認定申請		介護保険サービス調整		老福サービス調整		ふれあい事業調整		その他サービス調整		民生委員の見守り		権利擁護業務		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)	数 (G)	割合 (G/A)	数 (H)	割合 (H/A)	数 (I)	割合 (I/A)
あさひ	12	5	41.7%	8	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%
こん中央	9	2	22.2%	3	33.3%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	44.4%
ときとう	9	5	55.6%	5	55.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	1	11.1%	2	22.2%
ゆのかわ	26	2	7.7%	17	65.4%	3	11.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	1	3.8%	9	34.6%
たかおか	6	1	16.7%	11	183.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
西堀	13	3	23.1%	10	76.9%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	30.8%	0	0.0%	2	15.4%
亀田	8	0	0.0%	7	87.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	50.0%
神山	24	9	37.5%	6	25.0%	2	8.3%	0	0.0%	2	8.3%	2	8.3%	1	4.2%	1	4.2%
よろこび	4	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%
社協	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	111	28	25.2%	70	63.1%	7	6.3%	0	0.0%	4	3.6%	7	6.3%	3	2.7%	26	23.4%

### 【参考③：見守りの内容】

(人)

センター名	見守りあり (A)	見守りの内容											
		稼働		親族との交流		民生委員等の見守り		近隣・知人との交流		習い事・地域活動		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)	数 (G)	割合 (G/A)
あさひ	139	10	7.2%	97	69.8%	6	4.3%	14	10.1%	12	8.6%	0	0.0%
こん中央	84	1	1.2%	56	66.7%	4	4.8%	18	21.4%	4	4.8%	1	1.2%
ときとう	109	2	1.8%	57	52.3%	3	2.8%	36	33.0%	10	9.2%	1	0.9%
ゆのかわ	230	3	1.3%	184	80.0%	6	2.6%	32	13.9%	4	1.7%	1	0.4%
たかおか	105	4	3.8%	81	77.1%	1	1.0%	14	13.3%	5	4.8%	0	0.0%
西堀	201	6	3.0%	140	69.7%	0	0.0%	36	17.9%	19	9.5%	0	0.0%
亀田	188	5	2.7%	119	63.3%	8	4.3%	29	15.4%	24	12.8%	3	1.6%
神山	228	6	2.6%	173	75.9%	5	2.2%	30	13.2%	11	4.8%	3	1.3%
よろこび	57	4	7.0%	37	64.9%	0	0.0%	16	28.1%	0	0.0%	0	0.0%
社協	58	0	0.0%	36	62.1%	0	0.0%	21	36.2%	1	1.7%	0	0.0%
合計	1,399	41	2.9%	980	70.1%	33	2.4%	246	17.6%	90	6.4%	9	0.6%

### 【参考④：見守りの頻度】

(人)

センター名	見守りあり (A)	見守りの頻度									
		毎日		週1回以上		月2回以上		月1回以上		その他	
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/A)	数 (D)	割合 (D/A)	数 (E)	割合 (E/A)	数 (F)	割合 (F/A)
あさひ	139	35	25.2%	76	54.7%	10	7.2%	5	3.6%	13	9.4%
こん中央	84	16	19.0%	49	58.3%	9	10.7%	9	10.7%	1	1.2%
ときとう	109	14	12.8%	52	47.7%	19	17.4%	21	19.3%	3	2.8%
ゆのかわ	230	45	19.6%	122	53.0%	24	10.4%	35	15.2%	4	1.7%
たかおか	105	24	22.9%	62	59.0%	7	6.7%	9	8.6%	3	2.9%
西堀	201	55	27.4%	101	50.2%	16	8.0%	17	8.5%	12	6.0%
亀田	188	38	20.2%	117	62.2%	10	5.3%	18	9.6%	5	2.7%
神山	228	52	22.8%	114	50.0%	20	8.8%	37	16.2%	5	2.2%
よろこび	57	10	17.5%	24	42.1%	9	15.8%	14	24.6%	0	0.0%
社協	58	9	15.5%	30	51.7%	18	31.0%	1	1.7%	0	0.0%
合計	1,399	298	21.3%	747	53.4%	142	10.2%	166	11.9%	46	3.3%

- ・事業対象者（75歳以上・単身世帯）のうち、25.5%が実態把握対象となった。
- ・実態把握対象者の46.4%について、実態把握が行えた。65歳以上・単身世帯への実態把握実施時の58.5%からは減少したが、65歳以上・複数世帯への実態把握時の34.5%からは増加した。
- ・実態把握の結果、92.2%は支援の必要性がなかったが、7.8%にあたる111名は支援が必要な状況と判断された。支援が必要な要因としては、身体機能の低下(60.4%)、認知機能の低下(11.7%)、健康問題(10.8%)が多く、支援内容としては、介護保険サービスの調整(63.1%)と介護認定申請(25.2%)がほとんどを占めた。個別支援を実施した割合は、65歳以上・単身世帯の8.7%からはやや減少したが、65歳以上・複数世帯の3.2%からは大幅に増加し、事業の目的である「支援が必要な高齢者を早期発見し、適切な支援を行う」ことができたと評価できる。
- ・見守りの内容としては、親族との交流(70.1%)、近隣・知人との交流(17.6%)がほとんどを占め、見守りの頻度も21.3%が毎日、53.4%が週1回以上となっていた。一方で、11.9%は月1回以上となっており、日常的な見守りとしては不十分で今後孤立する可能性も高いと考えられる。

(4) 実態把握結果(実態把握未実施者)

(人)

センター名	実態把握対象 (A)	実態把握未実施者		実態把握が行えなかった理由															
		断りの連絡		連絡票投函後 応答なし		玄関先で終了		家族同居		後日訪問約束		転出・転居・死亡		家不明		その他			
		数 (B)	割合 (B/A)	数 (C)	割合 (C/B)	数 (D)	割合 (D/B)	数 (E)	割合 (E/B)	数 (F)	割合 (F/B)	数 (G)	割合 (G/B)	数 (H)	割合 (H/B)	数 (I)	割合 (I/B)	数 (J)	割合 (J/B)
あさひ	285	143	50.2%	25	17.5%	33	23.1%	29	20.3%	41	28.7%	0	0.0%	2	1.4%	1	0.7%	12	8.4%
こん中央	250	160	64.0%	20	12.5%	40	25.0%	56	35.0%	32	20.0%	1	0.6%	1	0.6%	4	2.5%	6	3.8%
ときとう	329	218	66.3%	37	17.0%	38	17.4%	83	38.1%	38	17.4%	1	0.5%	6	2.8%	6	2.8%	9	4.1%
ゆのかわ	493	260	52.7%	57	21.9%	53	20.4%	78	30.0%	32	12.3%	7	2.7%	2	0.8%	27	10.4%	4	1.5%
たかおか	238	130	54.6%	21	16.2%	33	25.4%	37	28.5%	31	23.8%	2	1.5%	1	0.8%	3	2.3%	2	1.5%
西 堀	394	189	48.0%	44	23.3%	41	21.7%	38	20.1%	43	22.8%	0	0.0%	3	1.6%	6	3.2%	14	7.4%
亀 田	388	197	50.8%	40	20.3%	47	23.9%	21	10.7%	60	30.5%	0	0.0%	1	0.5%	13	6.6%	15	7.6%
神 山	485	256	52.8%	48	18.8%	54	21.1%	67	26.2%	67	26.2%	4	1.6%	4	1.6%	5	2.0%	7	2.7%
よろこび	139	82	59.0%	16	19.5%	15	18.3%	22	26.8%	22	26.8%	1	1.2%	0	0.0%	5	6.1%	1	1.2%
社 協	65	7	0.0%	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	57.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
合 計	3,066	1,642	53.6%	310	18.9%	354	21.6%	431	26.2%	370	22.5%	16	1.0%	20	1.2%	70	4.3%	71	4.3%

- ・実態把握対象者の53.6%には実態把握を行えなかった。
- ・実態把握を行えなかった理由としては、玄関先で終了(26.2%)、家族同居(22.5%)、連絡票投函後応答なし(21.6%)、事前に断りの連絡(18.9%)の順に多かった。対象年齢を65歳以上から75歳以上へ引き上げたため、65歳以上・単身世帯、65歳以上・複数世帯と比較して、家族同居の割合が増加した。
- ・玄関先で終了と事前に断りの連絡の741名については、簡単な状況確認とセンターの周知を行うことができたが、連絡票投函後応答なしの354名については、状況が一切分からない状況であり、今後の対応について検討が必要と考えられる。

## 5 保健福祉サービス等利用調整

### (1) 利用調整件数の推移

(件)

センター名	調整数	(再) 除排雪
あさひ	135	36
こん中央	144	40
ときとう	138	52
ゆのかわ	156	83
たかおか	103	41
西堀	58	36
亀田	122	73
神山	115	75
よろこび	86	43
社協	400	61
合計	1,457	540
H29実績	2,889	2,352

### (2) モニタリング実施状況

(人・件)

センター名	対象者数	実施数	実施率
あさひ	16	16	100.0%
こん中央	22	22	100.0%
ときとう	25	25	100.0%
ゆのかわ	26	26	100.0%
たかおか	15	15	100.0%
西堀	11	11	100.0%
亀田	8	8	100.0%
神山	11	11	100.0%
よろこび	14	14	100.0%
社協	35	35	100.0%
合計	183	183	100.0%
H29実績	283	275	97.2%

- ・利用調整数は、平成29年度と比較して大幅に減少している。平成29年度は降雪量が多く除排雪サービスの利用調整数が増加したが、平成30年度は降雪量が少なく利用調整数も減少したためと考えられる。
- ・モニタリング実施状況も平成29年度と比較し減少しているが、モニタリング該当年度に緊急通報システムを設置した利用者が少なかったためと考えられる。

## 6 住民に対する広報・啓発活動

### (1) 住民に対する広報・啓発回数

(回)

センター名	広報紙の発行	パンフレット等の配布	出前講座講師派遣	認知症サポーター養成講座
あさひ	2	17	10	8
こん中央	3	20	11	1
ときとう	2	19	24	5
ゆのかわ	2	7	27	6
たかおか	2	9	17	1
西堀	3	16	9	1
亀田	3	7	18	3
神山	3	17	8	5
よろこび	2	12	15	1
社協	2	37	23	2
合計	24	161	162	33
H29実績	24	102	177	45

### (2) 総合相談にかかる広報・啓発回数

(回)

センター名	センター業務	介護保険制度	保健福祉サービス	認知症
あさひ	15	0	1	22
こん中央	29	11	3	14
ときとう	14	14	16	16
ゆのかわ	24	10	4	14
たかおか	17	5	5	6
西堀	12	8	4	10
亀田	13	6	5	4
神山	12	6	3	9
よろこび	15	4	6	6
社協	16	0	0	14
合計	167	64	47	115
H29実績	217	87	147	123

- ・広報紙の発行について、発行回数の増減はないが、カラー印刷やイラストを用いるなど各センター工夫して作成しており、広報紙の質が向上していると評価できる。
- ・出前講座の開催回数や総合相談に係る広報・啓発回数は増加しているが、相談件数が減少していることから、対象者や啓発方法についての見直しや工夫が必要と考えられる。

# 【包括的支援事業】権利擁護業務

## 1 権利擁護相談対応状況

### (1) 権利擁護業務対応状況

#### ① 権利擁護事例対応件数

(人・回)

センター名	対象者数		実対応回数		延対応回数※1		1件あたりの対応回数 実対応回数／対象者数			(参考) 権利擁護事例 に占める虐待事例 の割合
		(内) 虐待事例※2		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例		(内) 虐待事例以外	(内) 虐待事例	
あさひ	30	10	315	81	328	84	10.5	11.7	8.1	33.3%
こん中央	58	14	685	104	725	115	11.8	13.2	7.4	24.1%
ときとう	16	7	252	58	279	59	15.8	21.6	8.3	43.8%
ゆのかわ	17	9	216	99	231	107	12.7	14.6	11.0	52.9%
たかおか	37	6	659	35	674	35	17.8	20.1	5.8	16.2%
西堀	49	9	422	42	453	43	8.6	9.5	4.7	18.4%
亀田	36	12	659	217	682	230	18.3	18.4	18.1	33.3%
神山	49	13	679	137	786	148	13.9	15.1	10.5	26.5%
よろこび	24	8	239	60	262	65	10.0	11.2	7.5	33.3%
社協	7	1	55	5	66	6	7.9	8.3	5.0	14.3%
合計	323	89	4,181	838	4,486	892	12.9	14.3	9.4	27.6%
H29実績	352	61	4,272	995	4,576	1,101	12.1	11.3	16.3	17.3%

※1 複数体制での対応を行った場合に、延対応回数へ計上している。

※2 高齢者虐待と判断した事例だけではなく、高齢者虐待疑いとして対応した事例も含む。

#### ② 事案別内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待	セルフ ネグレクト	成年 後見等	消費者 被害	困難 事例	内訳(重複あり)														
						認知	知的	精神	拒否	ADL 低下	独居	家族 問題	サービス 依存	医療 問題	アル コール	薬物	経済 困窮	苦情	その他	左記 以外
あさひ	20	0	20	0	112	23	3	1	10	6	14	29	0	8	1	0	11	2	3	1
こん中央	35	0	51	1	491	82	6	40	46	15	65	72	6	61	13	0	34	11	31	9
ときとう	11	4	0	0	176	23	0	30	33	11	21	19	0	15	2	0	4	12	3	3
ゆのかわ	20	0	3	0	73	14	0	12	3	8	11	10	0	6	0	0	8	0	1	0
たかおか	10	0	14	0	334	84	1	30	13	2	42	68	2	30	0	0	16	1	27	18
西堀	17	0	25	0	352	65	7	37	15	10	48	63	0	37	10	0	22	12	35	1
亀田	40	0	22	0	252	48	0	25	10	9	28	52	0	21	6	0	37	8	6	2
神山	35	0	11	0	351	65	6	27	42	15	50	62	0	32	0	0	30	5	10	7
よろこび	24	0	9	0	236	45	0	5	27	5	38	48	0	10	11	0	29	1	17	0
社協	2	0	0	1	20	6	2	0	3	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	214	4	155	2	2,397	455	25	207	202	81	319	430	8	220	43	0	191	52	133	41
H29実績	224	3	117	8	2,330	444	10	172	228	69	335	425	0	127	45	0	266	72	84	53

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス事業所	近隣住民知人	民生委員	本人	家族親族	行政(※)	警察	医療機関	不明匿名	その他	その他の内容
あさひ	30	29	30	3	8	24	22	28	12	16	0	15	スーパー、成年後見センター、弁護士、後見人、年金事務所、医療介護連携支援センター、地域包括支援センター
こん中央	58	65	23	6	13	16	35	50	14	14	0	28	不動産業者、古物業者、大家、法律事務所、弁護士、保佐人、ウイメンズネット函館、介護保険施設、救護施設、地域包括支援センター
ときとう	16	12	9	7	20	0	18	12	8	5	0	2	法テラス函館
ゆのかわ	17	4	0	14	1	7	9	1	5	4	0	2	北海道立消費生活センター
たかおか	37	13	5	8	15	6	40	24	31	4	0	31	町会役員、郵便局、病院相談員、障害者生活支援センターばすてる
西堀	49	29	13	10	5	8	36	2	22	17	0	6	コンビニ、函館療育自立支援センター、地域包括支援センター、こども未来部次世代育成課
亀田	36	42	11	17	8	15	17	10	0	17	0	10	不動産会社、弁護士、夫の後見人、住宅型有料老人ホーム
神山	49	23	3	6	10	38	29	22	4	6	0	7	町会長、在宅福祉委員、大家、障害者生活支援センターばすてる、息子(知的障害)の支援員
よろこび	24	9	16	6	10	22	23	32	14	9	0	14	介護付有料老人ホーム、北海道福祉サービス運営適正委員会、消防、地域包括支援センター
社協	7	1	0	0	0	1	0	2	0	3	0	5	郵便局、息子の入所施設職員、成年後見センター、函館市東部保健事務所
合計	323	227	110	77	90	137	229	183	110	95	0	120	
H29実績	352	248	100	79	80	171	268	203	65	165	0	120	

※高齢者虐待担当部局(高齢福祉課・亀田福祉課)のみを計上。

④医療機関とのネットワーク構築  
(重複あり)

(件)

センター名	個別ケース支援連携数	連携・ネットワーク構築機関
あさひ	16	15
こん中央	17	24
ときとう	12	15
ゆのかわ	8	23
たかおか	32	19
西堀	22	22
亀田	17	16
神山	55	20
よろこび	37	27
社協	34	7
合計	250	188
H29実績	201	190

(2) 高齢者虐待対応状況(再掲)

①虐待種別の内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	ネグレクト
あさひ	10	12	0	0	1	7
こん中央	14	15	9	0	5	6
ときとう	7	10	0	0	1	4
ゆのかわ	9	13	0	0	7	0
たかおか	6	2	5	0	3	0
西堀	9	11	5	0	0	1
亀田	12	12	2	0	20	6
神山	13	15	14	0	6	0
よろこび	8	16	3	0	2	0
社協	1	1	1	0	0	0
合計	89	107	39	0	45	24
H29実績	60	85	57	2	32	16

- ・権利擁護事例は平成29年度と比較し、対象者数は減少したが、虐待事例においては増加している。
- ・権利擁護事例における相談・通報者は平成29年度と同様の傾向を示しているが、医療機関からの相談・通報件数が減少している。個別ケースの支援を通しての連携は徐々に増加しているため、継続してネットワーク構築のための働きかけを行う必要があると考えられる。
- ・1件あたりの対応回数について、虐待事例以外では増加しており、課題の複雑化や支援の困難さが要因と推察する。また、虐待事例では減少しており、関係機関との連携強化や対応する職員の資質向上により、早期介入や適切な支援が可能となり、早期解決により減少したものと考えられる。

②虐待者の続柄, 同居・別居状況内訳(重複あり)

(件)

センター名	虐待者の続柄											同居・別居					
	夫	妻	息子	娘	嫁	婿	孫	兄弟	他	(その他内容)	不明	虐待者 と同居	虐待者 他家族 と同居	別居	他	(その他内容)	不明
あさひ	2	1	8	0	0	0	0	9	0		0	17	0	3	0		0
こん中央	7	7	9	1	0	0	0	0	4	姪, 内縁の夫	0	20	3	3	2	施設入所のため別居	0
ときとう	4	0	7	0	0	0	0	0	3	セルフネグレクト	0	10	0	0	4	虐待者は措置入院中, セルフネグレクト	0
ゆのかわ	4	0	8	4	0	0	0	2	0		0	16	0	2	0		0
たかおか	2	0	3	4	2	0	0	0	0		0	3	5	1	0		0
西堀	3	1	9	3	0	0	0	0	0		0	10	2	3	0		0
亀田	8	4	17	4	0	0	0	0	0		0	20	0	1	12	ショートステイ利用(長期)	0
神山	11	0	7	4	0	0	0	0	0		0	15	2	5	0		0
よろこび	3	10	12	1	0	0	0	0	1	行政書士事務所	0	7	0	11	0		0
社協	0	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0		0
合計	44	23	81	21	2	0	0	11	8		0	118	13	29	18		0
H29実績	28	12	43	30	2	0	0	14	3		0	102	9	16	11		0

③相談・通報者内訳(重複あり)

(件)

センター名	実件数	CM	サービス 事業所	近隣 住民 知人	民生 委員	本人	家族 親族	行政	警察	医療 機関	不明 匿名	その他	その他の内容
あさひ	10	12	10	0	0	1	1	12	1	6	0	3	後見人, 年金事務所, 医療介護連携支援センター
こん中央	14	15	6	0	0	0	12	7	2	4	0	1	介護保険施設
ときとう	7	7	2	0	0	0	7	2	0	0	0	0	
ゆのかわ	9	1	0	5	0	3	4	0	3	3	0	0	
たかおか	6	9	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
西堀	9	4	10	0	0	1	1	2	7	0	0	0	
亀田	12	22	7	8	0	0	4	2	0	7	0	1	不動産会社
神山	13	8	0	0	0	7	5	7	3	0	0	0	
よろこび	8	1	2	1	1	3	11	15	7	0	0	1	介護付有料老人ホーム
社協	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	89	80	38	14	1	16	47	47	23	20	0	6	
H29実績	60	69	24	9	16	30	43	50	13	37	0	24	

- ・虐待種別の内訳について、平成29年度と比較し実件数は増加し、各種別も増加している中で、心理的虐待のみ減少した。
- ・高齢者虐待における虐待者の続柄, 同居・別居状況, 相談通報者は平成29年度と同様の傾向を示している。
- ・平成29年度と同様に権利擁護における相談・通報者は家族が一番多い事に対し、高齢者虐待における相談・通報者は介護支援専門員が一番多い。

## 2 スキルアップ対策

### (1) 研修会や事例検討会の開催, 参加

(回)

センター名	高齢者虐待	困難事例	成年後見制度 消費者被害
あさひ	1	3	6
こん中央	6	2	7
ときとう	5	4	7
ゆのかわ	3	2	5
たかおか	4	2	5
西堀	4	1	6
亀田	1	3	2
神山	4	3	7
よろこび	1	5	3
社協	0	1	3
合計	29	26	51
H29実績	31	32	72

- ・成年後見制度についての研修会・事例検討会の開催、参加回数が減少しているが、関係機関が集まり実施している成年後見事例検討会の開催頻度が減少したためと考えられる。高齢者虐待、困難事例については、ほぼ例年通りの開催・参加となっている。
- ・住民等に対する広報・啓発活動においては、高齢者虐待防止における出前講座・講師派遣が増加している。住民からの依頼が少ない内容ではあるが、各センターで他のテーマと抱き合わせで行う等の工夫をし、積極的に実施したためと評価できる。

### 3 住民等に対する広報・啓発活動

(回)

センター名	高齢者虐待防止		成年後見制度		消費者被害防止	
	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレット配布
あさひ	2	4	0	0	1	0
こん中央	3	1	1	0	1	11
ときとう	4	5	4	1	4	1
ゆのかわ	10	0	0	0	0	1
たかおか	7	3	1	0	3	2
西堀	1	8	1	1	0	3
亀田	3	2	1	2	2	1
神山	1	4	0	2	2	3
よろこび	2	3	2	0	3	2
社協	8	18	1	8	0	2
合計	41	48	11	14	16	26
H29実績	24	51	28	45	※	

※平成29年度は、成年後見制度と合わせて計上。

# 【包括的支援事業】包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

## 1 包括的・継続的ケアマネジメント支援体制構築状況

### (1) ケアプラン指導研修(合同)事業実績

開催日時	開催場所	内容	参加者数
平成30年9月29日(土) 9:30~12:00	函館大学 161教室	講演:①地域包括ケアシステムとケアマネジャーの役割~法的根拠から学ぶ ②動きはじめた地域包括ケアシステム第2弾 ~求む意識改革! どうしたい? 函館の地域づくり 講師:①保健福祉部地域包括ケア推進課 主査 相澤 浩行 氏 ②北海道教育大学函館校 教授 齋藤 征人 氏	203人
平成30年11月16日(金) 13:30~16:45	函館大学 161教室	講演:人口減少社会における介護現場でのケアマネジャーに求められるスキル 講師:淑徳大学 教授 結城 康弘 氏	205人

### (2) ケアプラン指導研修(圏域)事業実績

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
あさひ	平成30年7月31日(火) 18:00~19:50	総合在宅ケアセンター あさひ	【事例検討会】 同僚や後輩からケースの相談受けた事ありますか?	16人	6事業所
	平成31年1月18日(金) 18:00~20:00	総合在宅ケアセンター あさひ	【事例検討会】 家族とケアマネに結構大きな意見の食い違い...そんなときどうする?	19人	7事業所
こん中央	※ 平成30年10月12日(金) 15:15~16:30	救護施設 明和園	【懇談会】 虐待だと思うけど...どうしよう...	17人	8事業所
	平成31年2月15日(金) 15:00~17:15	特別養護老人ホーム松 濤	【事例検討会】 介護サービスの必要性を感じていない利用者の関わり	29人	15事業所
ときとう	※ 平成30年10月12日(金) 15:15~16:30	救護施設 明和園	【懇談会】 虐待だと思うけど...どうしよう...	17人	8事業所
	平成31年2月15日(金) 15:00~16:30	コミュニティホールこん	【事例検討会】 妻を想う、たんばら爺さんの思いとは?	7人	5事業所
ゆのかわ	※ 平成30年9月21日(金) 18:30~21:00	天金	【懇談会】 個別ケースを扱う地域ケア会議について、養護者による経済的 虐待について、消費者被害への対応、介護保険情報より 【交流会】	17人	11事業所
	※ 平成31年2月13日(木) 14:30~16:00	函館アリーナ	【事例検討会】 支援者として配慮が必要と感じる家族との関係構築 【研修会】 函館市認知症初期集中支援チームについて	30人	19事業所
たかおか	※ 平成30年9月21日(金) 18:30~21:00	天金	【懇談会】 個別ケースを扱う地域ケア会議について、養護者による経済的 虐待について、消費者被害への対応、介護保険情報より 【交流会】	17人	11事業所
	※ 平成31年2月13日(木) 14:30~16:00	函館アリーナ	【事例検討会】 支援者として配慮が必要と感じる家族との関係構築 【研修会】 函館市認知症初期集中支援チームについて	30人	19事業所
西 堀	平成30年5月14日(月) 15:00~17:00	西堀病院	【研修会】 生活保護制度、境界層制度	28人	10事業所
	平成30年9月10日(月) 15:00~17:00	西堀病院	【研修会】 高齢者福祉サービス、高齢者虐待対応 【懇談会】 ケアプランにインフォーマルサービスを位置づけることについての 意見や要望について	14人	5事業所
	平成30年11月8日(木) 15:00~17:00	西堀病院	【事例検討会】 終末期利用者ご家族への対応を振り返り支援の在り方を考える	23人	11事業所
	平成31年1月16日(水) 15:00~16:15	富岡町一丁目会館	【研修会】 ケアマネジャーが押さえておきたい摂食嚥下についての面接時 のポイント	16人	10事業所

センター名	開催日時	開催場所	内容	参加者数	参加事業所数
亀田	※ 平成30年8月10日(金) 18:00～20:00	亀田病院	【事例検討会】 医療機関やインフォーマルサービスとの連携 【その他】 配食サービスの情報提供及び試食会	69人	29事業所
	平成31年3月26日(火) 18:00～19:50	亀田病院	【事例検討会】 走れる認知症！～地域で生活と権利を守るために～	21人	10事業所
神山	平成30年11月2日(金) 13:30～15:30	西堀病院	【事例検討会】 身寄りがなく金銭管理ができなくなったAさんへの支援 【研修会】 生活保護制度について	21人	20事業所
よろこび	※ 平成30年8月10日(金) 18:00～20:00	亀田病院	【事例検討会】 医療機関やインフォーマルサービスとの連携 【その他】 配食サービスの情報提供及び試食会	69人	29事業所
	平成31年2月18日(月) 18:00～19:30	デイサービスハートTO ハート北浜	【懇談会】 身寄りのない元気な認知症高齢者～あなたならどうする？金銭管理～	41人	16事業所
社 協	平成31年1月30日(水) 16:00～17:30	地域包括支援センター 社協	【研修会】 薬局における在宅業務について 【事例検討会】 息子・娘の兄弟間での確執により介護支援専門員を巻き込んで本人の養護関係・介護方針を巡り双方で綱引きし翻弄されたケース	9人	5事業所

※他センターとの合同開催

### (3) 計画数値の達成率

(回)

	あさひ	こん中央	ときとう	ゆのかわ	たかおか	西 堀	亀 田	神 山	よろこび	社 協	合 計
実施回数	4	4	4	4	4	6	4	4	4	3	41
計画数値	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
計画数値 達成率	133.3%	133.3%	133.3%	133.3%	133.3%	200.0%	133.3%	133.3%	133.3%	100.0%	136.7%

- ・実施回数は、平成29年度とほぼ同様で、全センター計画数値以上の実施となった。
- ・合同ケアプラン指導研修の参加者数は、平成29年度に比べ増加した。
- ・圏域のケアプラン指導研修では、研修会、懇談会、事例検討会等の開催により、センターと圏域内の介護支援専門員のネットワーク強化と資質向上を図ることができた。特に、困難事例についての事例検討や高齢者虐待や多機関との連携についての研修が多く行われた。延参加事業所数は、平成29年度の200事業所から187事業所へ減少した。要因としては、複数の圏域での合同開催が増えたこと、事例検討会や懇談会など小規模での開催が増えたためと考えられる。
- ・合同ケアプラン指導研修の効果的な実施のため、主任介護支援専門員部会と市で、介護支援専門員へのアンケート調査、ケアプランからの情報収集等を通じた状況把握と課題の分析を行い、平成31年度からは「多くの介護支援専門員が、ICFの視点にたち、本人や地域の強みを活かしたケアマネジメントを行うことができる」ことを目的に研修を開催することとした。(研修会名を「ケアマネジメント研修」に変更)

## 2 介護支援専門員への個別支援

### (1) 対応状況

(人・回)

センター名	対象者数(実)	対応回数(実)							終結率(実)	
		来所	電話	訪問	担当者会議等	ケア会議	その他	合計	終結した対象者数	終結率
あさひ	12	6	31	3	6	0	0	46	11	91.7%
こん中央	18	6	63	20	6	2	4	101	18	100.0%
ときとう	5	0	27	7	1	1	2	38	5	100.0%
ゆのかわ	20	12	54	26	3	2	1	98	20	100.0%
たかおか	18	19	63	21	2	1	3	109	15	83.3%
西 堀	6	4	6	5	5	0	0	20	6	100.0%
亀 田	7	3	18	4	1	0	0	26	7	100.0%
神 山	15	15	90	27	6	4	5	147	13	86.7%
よろこび	11	7	37	14	1	1	3	63	11	100.0%
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合 計	112	72	389	127	31	11	18	648	106	94.6%
H29実績	104	51	398	132	36	2	29	648	82	78.8%

### (再掲)

(回)

センター名	ケアマネへの対応回数(実)							対象者本人への対応回数(実)				
	来所	電話	訪問	担当者会議等	ケア会議	その他	合計	来所	電話	訪問	その他	合計
あさひ	5	23	2	6	0	0	36	1	8	1	0	10
こん中央	6	49	9	6	2	0	72	0	14	11	4	29
ときとう	0	17	4	1	1	1	24	0	10	3	1	14
ゆのかわ	12	38	8	3	2	1	64	0	16	18	0	34
たかおか	17	52	10	2	1	1	83	2	11	11	2	26
西 堀	2	3	2	5	0	0	12	2	3	3	0	8
亀 田	2	16	3	1	0	0	22	1	2	1	0	4
神 山	11	68	13	6	4	5	107	4	22	14	0	40
よろこび	6	18	5	1	1	2	33	1	19	9	1	30
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	61	284	56	31	11	10	453	11	105	71	8	195
H29実績	42	252	60	36	2	20	412	9	146	72	9	236

・対象者数、対応回数は平成29年度と同程度であった。対応方法については、来所と電話、地域ケア会議による支援が増加していたが、訪問による支援は減少している。

## (2) 支援内容(重複あり・実対応回数)

(人・回)

センター名	対象者数	情報提供				支援方針助言	計画作成助言	地域とのつながり	ケアマネ変更支援	その他	合計	
		介護保険	その他制度	社会資源	その他							
あさひ	12	4	0	2	2	0	15	2	0	3	0	24
こん中央	18	10	1	5	4	0	24	3	4	3	4	48
ときとう	5	3	2	1	0	0	5	0	3	1	1	13
ゆのかわ	20	11	1	3	3	4	8	1	6	12	2	40
たかおか	18	5	1	2	1	1	19	0	4	9	3	40
西 堀	6	2	0	2	0	0	4	0	0	2	1	9
亀 田	7	2	1	0	0	1	5	0	0	4	1	12
神 山	15	5	1	2	1	3	22	2	8	7	3	47
よろこび	11	6	2	0	1	4	12	0	1	5	2	26
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	112	48	9	17	12	13	114	8	26	46	17	259
H29実績	104	27	8	13	7	10	116	4	22	48	25	242

- ・ 支援内容は平成29年度同様、支援方針の指導・助言が最も多く、次いで介護支援専門員の変更支援、情報提供、地域と介護支援専門員がつながるための支援が多かった。
- ・ 地域ケア全体会議でも「地域の支援者と介護支援専門員がつながる仕組みづくり」に取り組んでおり、介護支援専門員への個別支援においても地域とつながる支援を意識的に行う必要があると考えられる。

## (3) 相談者(実数)

(人)

センター名	対象者数	CM	対象者本人	対象者家族	行政	部署	その他	内訳
あさひ	12	8	1	2	0		1	介護サービス事業所
こん中央	18	12	1	1	0		6	地域住民、知人、在宅福祉委員、町会役員、民生委員、病院相談員
ときとう	5	2	0	2	0		1	町会長
ゆのかわ	20	12	6	4	0		1	在宅福祉委員
たかおか	18	13	1	4	0		0	
西 堀	6	5	0	1	0		0	
亀 田	7	3	0	3	0		1	居宅会議支援事業所管理責任者
神 山	15	9	0	4	0		2	近隣住人、居宅介護支援事業所管理責任者
よろこび	11	4	2	4	0		3	町会役員、民生委員、居宅介護支援事業所管理責任者
社 協	0	0	0	0	0		0	
合 計	112	68	11	25	0		15	
H29実績	104	62	12	17	2		14	

- ・ 相談者は平成29年度同様、介護支援専門員、対象者家族、対象者本人の順に多かった。介護支援専門員以外の相談者が45.5%を占めており、総合相談等他の業務においても、介護支援専門員への支援の必要性を判断し、対応できていると評価できる。

(4) 対象者の概要

①対象者本人の状況(実数)

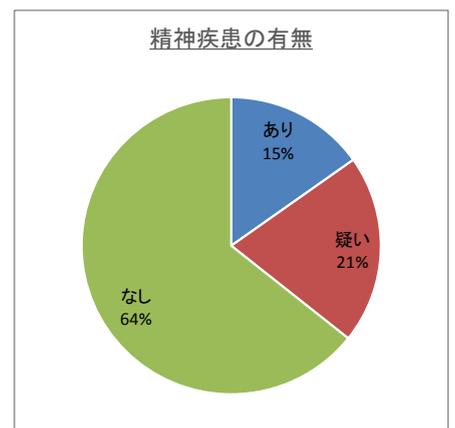
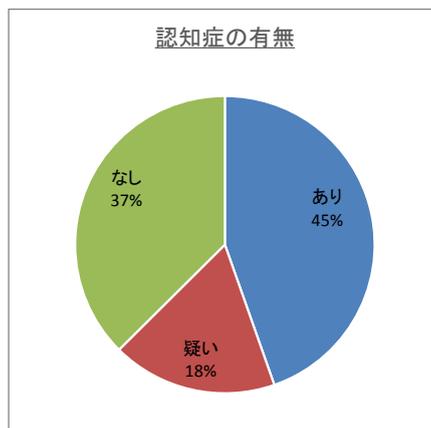
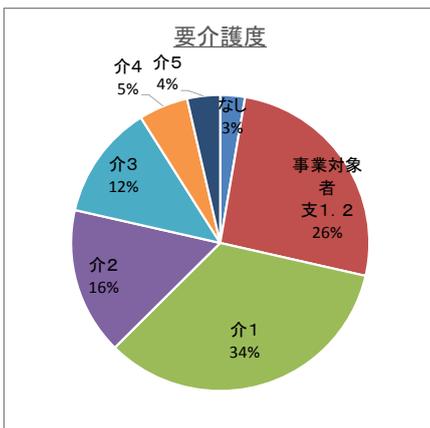
(人)

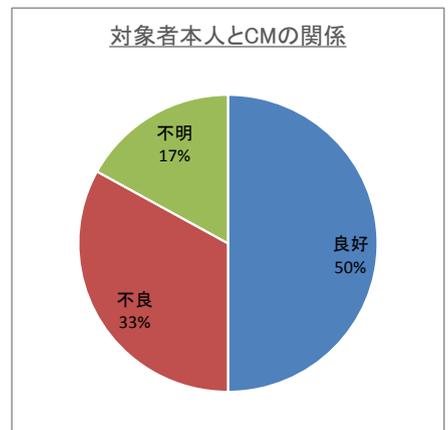
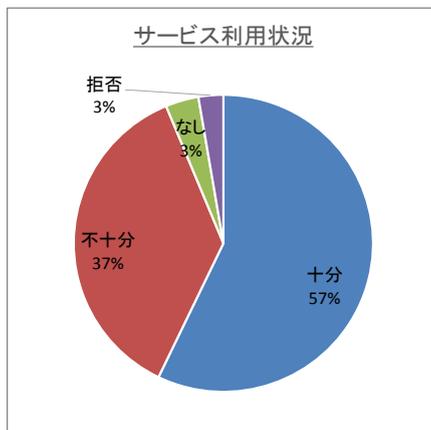
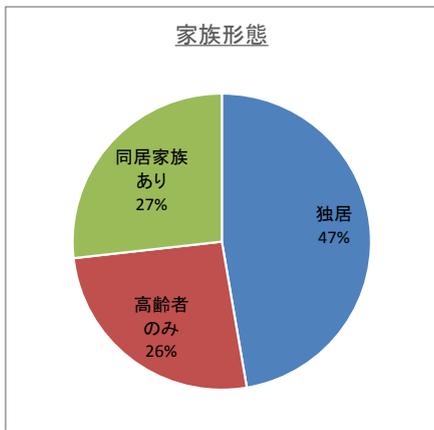
センター名	対象者数	要介護度									認知症			精神疾患		
		なし	事業対象者	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	あり	疑い	なし	あり	疑い	なし
あさひ	12	0	0	1	5	3	1	1	0	1	1	0	11	5	0	7
こん中央	18	1	0	1	2	8	1	2	3	0	6	7	5	4	3	11
ときとう	5	1	0	2	0	2	0	0	0	0	4	1	0	2	0	3
ゆのかわ	20	0	0	3	5	4	3	4	1	0	9	5	6	2	5	13
たかおか	18	0	0	1	2	7	3	2	2	1	10	2	6	2	2	14
西堀	6	0	0	1	1	3	1	0	0	0	4	0	2	0	1	5
亀田	7	0	0	2	0	0	3	2	0	0	3	1	3	1	1	5
神山	15	1	0	0	2	5	4	3	0	0	7	3	5	1	6	8
よろこび	11	0	1	0	0	6	2	0	0	2	6	1	4	0	5	6
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112	3	1	11	17	38	18	14	6	4	50	20	42	17	23	72
H29実績	104	1	1	6	16	41	20	7	8	1	39	23	42	12	29	63

②支援状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	家族形態						サービス利用状況				CMとの関係		
		独居		高齢者のみ		同居家族あり		あり		なし	拒否	良好	不良	不明
		支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	支援者あり	支援者なし	十分	不十分					
あさひ	12	3	3	2	2	2	0	11	1	0	0	9	2	1
こん中央	18	4	5	5	1	3	0	8	9	1	0	12	5	1
ときとう	5	1	0	0	3	1	0	0	4	1	0	3	0	2
ゆのかわ	20	3	9	2	0	5	1	16	2	0	2	6	13	1
たかおか	18	5	3	5	0	4	1	11	6	1	0	10	5	3
西堀	6	3	0	1	0	1	1	2	3	1	0	3	2	1
亀田	7	4	1	0	0	2	0	4	3	0	0	1	3	3
神山	15	5	1	4	1	4	0	7	7	0	1	9	4	2
よろこび	11	3	0	2	1	5	0	5	6	0	0	3	3	5
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112	31	22	21	8	27	3	64	41	4	3	56	37	19
H29実績	104	38	19	12	7	24	2	58	35	6	6	52	35	17





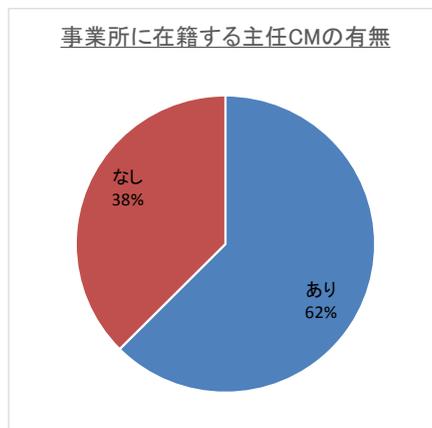
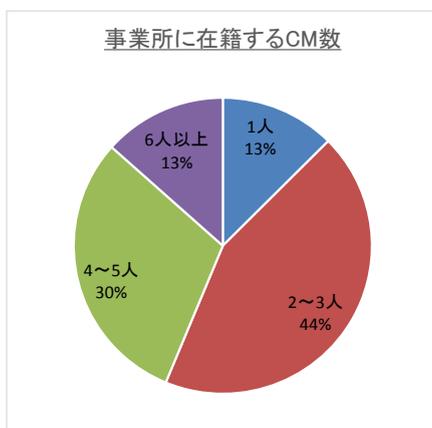
- ・対象者本人の要介護度は、要介護1が33.9%と最も多く、次いで要介護2が16.1%、要支援2が15.2%となった。平成29年度と比べて、介護度の差はあまり見られなかった。62.5%が認知症（疑いを含む）を、35.7%が精神疾患（疑いを含む）を抱えており、ADLの低下だけではなく、認知機能の低下や精神症状を抱えながら在宅生活を継続しているケースへの支援において、介護支援専門員の支援の困難性が高まっており、地域との関わりを視野に入れ、地域ケア会議の活用等を検討しながら支援する必要があると考えられる。
- ・対象者本人の家族形態は、独居と高齢者のみ世帯で73.2%を占めており、家族による介護が十分受けられないケースで介護支援専門員の支援の困難性が高まると考えられる。また、半数以上が、十分なサービスを利用しており、サービス調整以外の部分で困難性を抱えるケースも多いと考えられる。

## (5) 事業所および介護支援専門員の概要

### ①事業所の状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	CMの人数				主任CMの有無		事業所の相談体制			
		1人	2~3人	4~5人	6人以上	あり	なし	良好	不良	1人CM	不明
あさひ	12	1	3	6	2	6	6	9	2	1	0
こん中央	18	2	13	2	1	8	10	12	1	2	3
ときとう	5	1	4	0	0	4	1	2	0	1	2
ゆのかわ	20	1	8	7	4	14	6	8	1	1	10
たかおか	18	4	7	3	4	9	9	11	1	2	4
西堀	6	0	2	2	2	4	2	4	0	0	2
亀田	7	0	1	4	2	7	0	5	1	0	1
神山	15	3	8	4	0	9	6	8	1	3	3
よろこび	11	2	3	6	0	9	2	6	0	1	4
社協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	112	14	49	34	15	70	42	65	7	11	29
H29実績	104	15	44	30	15	61	43	57	15	14	18

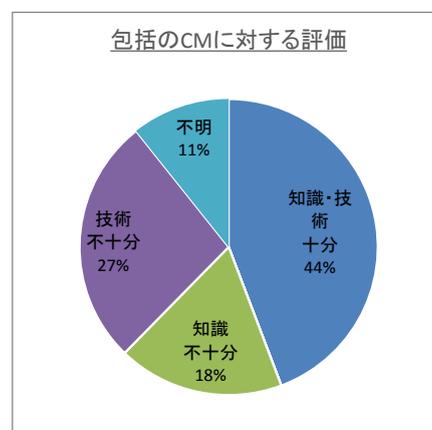
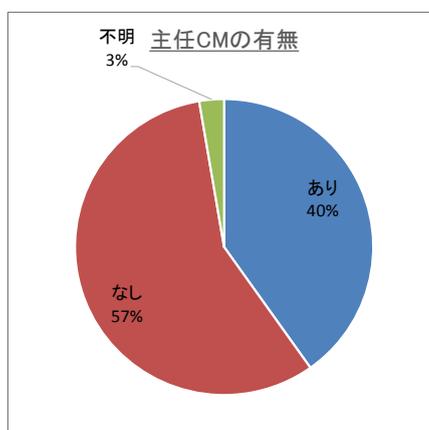
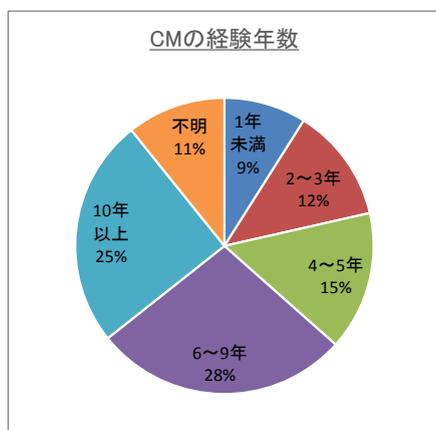


- ・支援をした介護支援専門員が所属する事業所は、3人以下の小規模な事業所が全体の半数以上を占めた。大規模の事業所に比べ、事業所内に主任介護支援専門員がいなかったり、相談体制が十分ではない可能性が高く、センターによる支援を必要とするケースが多いと考えられる。

## ②介護支援専門員の状況(延数)

(人)

センター名	対象者数	CMの経験年数						主任CMの有無			包括の評価(重複あり)			
		1年未満	2~3年	4~5年	6~9年	10年以上	不明	あり	なし	不明	十分	知識不十分	技術不十分	不明
あさひ	12	3	3	3	3	0	0	3	8	1	5	5	6	0
こん中央	18	0	4	3	2	2	7	4	14	0	7	3	9	0
ときとう	5	0	0	1	4	0	0	3	1	1	5	0	0	0
ゆのかわ	20	0	4	2	4	10	0	11	8	1	4	4	4	9
たかおか	18	1	0	1	10	5	1	9	9	0	14	2	1	1
西 堀	6	1	1	1	1	0	2	2	4	0	3	0	3	0
亀 田	7	3	0	1	0	2	1	2	5	0	4	2	2	1
神 山	15	0	1	3	5	5	1	7	8	0	9	2	3	2
よろこび	11	2	1	2	2	4	0	4	7	0	3	4	5	0
社 協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	112	10	14	17	31	28	12	45	64	3	54	22	33	13
H29実績	104	12	13	16	19	12	32	31	67	6	42	18	36	17



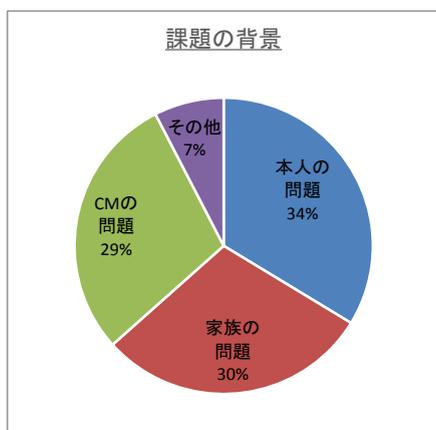
・支援をした介護支援専門員の経験年数は、6~9年が27.7%と最も多く、次いで10年以上が25.0%となり、経験年数の長い介護支援専門員からの相談が増加した。また、主任介護支援専門員の資格がない者が57.1%を占めた。

・介護支援専門員の知識や技術について、8.9%はどちらも不十分で、40.2%はどちらかが不十分であった。個別支援を通じたスキルアップを図ることはもちろんのこと、状況の分析を行い、ケアマネジメント研修やその他の事業・資源も活用しながら、全体のスキルアップを効果的に図る必要があると考えられる。

(6) 課題の背景(重複あり)

(人)

センター名	対象者数	対象者本人の問題	対象者家族の問題	CMの問題	その他	その他の内訳
あさひ	12	6	5	7	2	2 住宅型有料老人ホームの支援体制の問題
こん中央	18	13	9	9	2	2 医療と介護の連携が不十分, 福祉職と後見人(弁護士)の価値観の違い
ときとう	5	2	1	2	2	2 関係者の支援の方向性の不一致, 若年性認知症の社会資源の認知不足
ゆのかわ	20	11	6	8	0	
たかおか	18	6	11	7	2	2 総合事業の利用方法についての問題, 有料老人ホームの対応の問題
西 堀	6	3	3	2	0	
亀 田	7	2	2	3	1	1 医療の対応の問題
神 山	15	10	9	5	2	2 前任者のアセスメントが不十分, 近隣住民の問題
よろこび	11	5	5	7	2	2 家族との関係構築の問題, 社会資源の不足
社 協	0	0	0	0	0	
合 計	112	58	51	50	13	
H29実績	104	63	52	46	11	



- ・ 課題の背景では、対象者本人の問題が51.8%、対象者家族の問題が41.1%を占め、本人や家族に問題を抱えるケースでは支援の困難性が高まると考えられる。
- ・ 介護支援専門員の知識や技術不足が課題につながったケースも46.6%あり、前述のとおり、介護支援専門員全体のスキルアップを図る必要があると考えられる。

# 【包括的支援事業】認知症総合支援事業

## 1 認知症初期集中支援推進事業

### (1) 活動状況

(人・回)

認知症患者医療センター名	対象者数 (実)	訪問回数 (延)	チーム員会議 開催回数	検討委員会 開催回数	備 考
富田病院	1	6	1	2	チーム員会議: 随時開催
渡辺病院	2	51	5		
亀田北病院	7	71	12		チーム員会議: 毎月第2木曜日
計	10	128	18	2	

※チーム員の編成 基本的に専門職2名以上, 専門医1名以上 計3名以上

認知症患者医療センター		地域包括支援センター			市
センター名	専門医(5人)専門職(16人)	圏 域	センター名	専門職(62人)	専門職(8人)
富田病院	専門医: 認知症サポート医 亀田北病院 渡辺病院 富田病院  専門職(各センター1名以上) 精神保健福祉士 作業療法士 看護師等	西 部	あ さ ひ	専門職(各センター1名以上) 医療系・介護系 保健師 社会福祉士 主任介護支援専門員等	保健師(認知症地域支援推進員) 訪問活動 チーム員会議 チーム編成等のコーディネート参画
		中 央 部	こ ん 中 央 と き と う		
渡辺病院		東 央 部	ゆ の か わ た か お か		
		東 部	社 協		
亀田北病院	北 東 部	西 堀 亀 田 神 山			
	北 部	よ ろ こ び			

- ・ チーム員会議では該当する対象者について、事業の基準に相当するケース選定のあげづらさがあり、会議開催につながらない状況となっている。
- ・ 既に専門医や関係機関と連携をとり支援を展開していたり、緊急対応が必要な事例などは、事業活用に相応せず都度対応となっている。
- ・ 今後に向け、各センターでは意見交換をしながら、事業の基準ケースに選定しようという動き(状況)である。

### (2) 情報交換会の開催状況

開催日時	開催場所	内 容	参加者数	参加者内訳
平成31年2月26日	函館市国際水産・海洋総合研究センター	実績報告, 活動報告, 意見交換等	36人	認知症患者医療センター: 3人 地域包括支援センター: 29人 市: 4人

## 2 認知症地域支援・ケア向上推進事業

### (1) 認知症地域支援推進員連絡会開催状況

開催日時	開催場所	内 容	出席者数	
				(再) 包括職員
平成30年4月19日	函館市総合保健センター	認知症カフェのあり方,今後のカフェ担当等	23人	18人
平成30年10月25日	函館市総合保健センター	研修会終了後の,認知症ケアパス等	19人	13人
平成31年3月12日	函館市総合保健センター	今後の事業実績,次年度に向けて	19人	14人

### (2) 認知症カフェ開催状況

名 称	センター名	開催日時	開催場所	内 容	参加者数
と い 茶 屋	社 協	平成30年9月20日	戸井生涯学習センター	自宅でできる認知症予防体操	26人
		平成30年11月15日	戸井西部総合センター	自宅でできる認知症予防体操	28人
おれんじサロン美原	亀 田 西 堀 神 山	平成30年11月27日	イトーヨーカドー函館店	高齢者支援サービスミニ講話,演奏会	36人
にしぼりカフェ	西 堀 神 山	平成31年2月2日	西堀病院	運動と認知症予防の講話,マシン運動	35人
おれんじカフェ日吉	ゆ の か わ	平成31年3月20日	コンテ日吉多世代交流センター	楽しく脳力アップ!(運動)	48人
		平成31年3月27日	コンテ日吉多世代交流センター	認知症と薬とおかしと(薬剤師講話)	60人
合 計					233人

※認知症カフェとは、認知症の人やその家族が地域の人や介護・医療の専門家と交流することで相互に情報を共有したり、お互いを理解する場

### (3) 認知症ケアパス作成に関する会議の開催状況

開催日時	センター名	開催場所	参加者数
平成31年1月22日	あさひ・こん中央・ときとう	函館市地域包括支援センターあさひ	4人
平成31年2月21日	あさひ・こん中央・ときとう	函館市地域包括支援センターあさひ	4人

※認知症ケアパスとは、地域ごとに発症予防から人生の最終段階まで、生活機能障がい進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければ良いのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したもの

- ・ 認知症地域支援推進員連絡会を通じ、認知症ケアパスを全面改訂することの情報共有が図られ、令和2年度全面改定に向け、準備を進めることにつながっている。
- ・ 会議では各センターの認知症地域支援推進員の活動報告から認知症カフェの開催に向け準備を進めているセンター、主に認知症ケアパス作成に向け準備を進めるセンター、圏域の資源をリサーチし認知症カフェ開催とのマッチングについて準備を進めているセンター（よろこび）がある。
- ・ 会議の中で各センターの取組状況の情報共有・意見交換を通し役割分担をしながら活動している状況である。

#### (4) 認知症関係研修参加状況

(回・人)

センター名	参加回数	(再) 推進員研修会(※) 参加人数
あさひ	2	1
こん中央	3	1
ときとう	1	2
ゆのかわ	2	2
たかおか	7	2
西堀	2	1
亀田	5	2
神山	2	1
よろこび	3	1
社協	2	1
合計	29	14

- ・各研修会への積極的な参加により、認知症地域推進員としてのスキルアップになっている。
- ・研修会で得た情報をもとに認知症地域支援推進員連絡会の中では活発な意見がだされることにつながっている。

※認知症地域推進員研修会

# 【包括的支援事業】地域ケア会議推進事業

## 1 地域ケア会議開催状況

### (1) 実施回数と計画数値の達成率(実数)

(回)

センター名	個別ケースの検討			地域課題の検討			合計		
	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率	実施回数	計画数値	計画数値の達成率
あさひ	5	5	100.0%	3	3	100.0%	8	8	100.0%
こん中央	6	6	100.0%	4	3	133.3%	10	9	111.1%
ときとう	7	6	116.7%	3	3	100.0%	10	9	111.1%
ゆのかわ	7	7	100.0%	5	4	125.0%	12	11	109.1%
たかおか	6	6	100.0%	3	3	100.0%	9	9	100.0%
西 堀	5	5	100.0%	3	3	100.0%	8	8	100.0%
亀 田	7	7	100.0%	3	3	100.0%	10	10	100.0%
神 山	7	7	100.0%	6	4	150.0%	13	11	118.2%
よろこび	8	6	133.3%	3	3	100.0%	11	9	122.2%
社 協	3	3	100.0%	2	2	100.0%	5	5	100.0%
合 計	61	58	105.2%	35	31	112.9%	96	89	107.9%
H29実績	62	58	106.9%	34	30	113.3%	96	88	109.1%

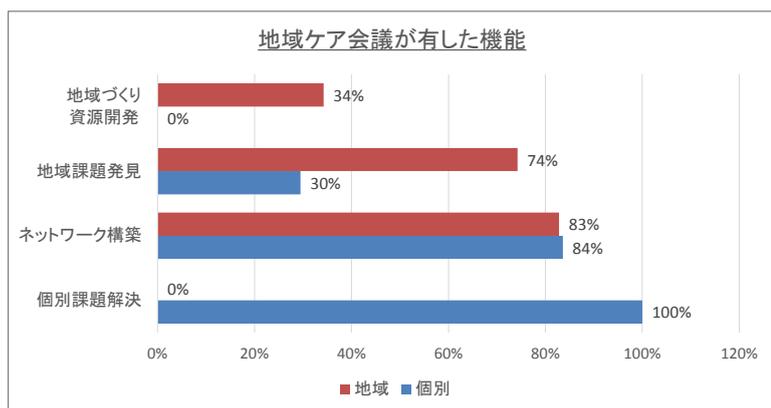
・個別ケースの検討を行う地域ケア会議は、全センター計画数値以上の実施となった。実施したすべての会議が個別課題解決機能を、83.6%がネットワーク構築機能を有しており、地域で高齢者を支えるためのネットワークづくりの場として有効に活用されていた。特に、地域と介護支援専門員のネットワークが構築されることで、在宅生活の継続が可能となったケースもみられた。地域課題発見機能が減少しているが、地域課題の考え方を整理したためと考えられる。

・地域課題の検討を行う地域ケア会議も、全センターで計画数値以上の実施となった。実施した会議のうち、82.9%でネットワーク構築機能および地域課題発見機能を有し、地域全体で地域の課題を検討する場として機能している。また、地域づくりや資源開発機能を有する会議は平成29年度から増加し34.3%となった。

### (2) 地域ケア会議が有した機能(実数・重複あり)

(回・人)

センター名	個別ケースの検討				地域課題の検討				合計			
	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発	個別課題解決	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり資源開発
あさひ	5	4	0	0	0	3	1	0	5	7	1	0
こん中央	6	6	0	0	0	4	4	0	6	10	4	0
ときとう	7	6	4	0	0	3	3	1	7	9	7	1
ゆのかわ	7	6	6	0	0	5	5	4	7	11	11	4
たかおか	6	2	6	0	0	3	3	0	6	5	9	0
西 堀	5	4	0	0	0	3	2	0	5	7	2	0
亀 田	7	6	0	0	0	2	3	0	7	8	3	0
神 山	7	7	1	0	0	3	0	6	7	10	1	6
よろこび	8	8	1	0	0	3	3	1	8	11	4	1
社 協	3	2	0	0	0	0	2	0	3	2	2	0
合 計	61	51	18	0	0	29	26	12	61	80	44	12
H29実績	62	59	30	0	0	28	29	10	62	87	59	10



### (3) 地域ケア会議の参集者

#### ① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(回・人)

センター名	開催回数	本人	家族	近隣住人	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	介護事業所	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	5	1	3	3	4	0	3	4	5	3	4	6	36
こん中央	6	0	1	2	5	0	1	6	6	1	9	4	35
ときとう	7	0	1	9	6	8	4	4	6	0	7	3	48
ゆのかわ	7	1	1	2	4	0	2	4	5	0	5	7	31
たかおか	6	0	0	2	5	5	4	1	2	3	7	3	32
西堀	5	1	6	0	5	0	0	4	5	3	4	6	34
亀田	7	3	3	1	4	0	1	3	3	6	1	4	29
神山	7	4	7	1	6	0	1	4	11	0	0	3	37
よろこび	8	2	5	6	6	2	2	5	10	2	4	4	48
社協	3	3	2	0	0	0	0	1	1	1	2	4	14
合計	61	15	29	26	45	15	18	36	54	19	43	44	344
H29実績	62	10	19	20	54	17	15	44	—	38	55	125	397

\*医療機関の内訳

亀田北病院(精神保健福祉士)、亀田病院(看護師, 相談員)、ごとう内科胃腸科(医師)、なるかわ病院(看護師, 相談員)、函館市医師会病院(相談員)、函館新都市病院(相談員)、函館赤十字病院(相談員)、函館中央病院(相談員)、函館脳神経外科病院(相談員)、函館渡辺病院(看護師, 相談員)、ゆのかわメンタルクリニック(看護師)

\*行政の内訳

地域包括ケア推進課, 高齢福祉課, 障がい保健福祉課, 生活支援課, 亀田福祉課, 住宅都市施設公社

\*その他の内訳

有料老人ホーム, 社会福祉士事務所, 配食サービス事業所, 障がい者相談事業所, 障がいサービス事業所, 中央警察署, 西警察署, 駐在所・交番, 成年後見センター, 後見人, 保佐人, 弁護士, 郵便局, スーパー, 住宅管理会社, 大家, その他民間事業所, 団地自治会, ひきこもり家族交流会, 友人

#### ② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(人)

センター名	開催回数	本人	家族	地域住民	民生委員	町会役員	在宅福祉	CM	医療機関	行政	その他	合計
あさひ	3	0	0	21	5	3	2	0	0	0	3	34
こん中央	4	0	0	23	29	42	13	13	0	9	32	161
ときとう	3	0	0	0	13	0	23	8	1	1	4	50
ゆのかわ	5	0	0	22	0	48	33	22	1	8	54	188
たかおか	3	0	0	0	12	36	13	11	0	7	30	109
西堀	3	0	0	0	11	19	1	12	0	0	1	44
亀田	3	0	0	0	16	3	11	0	0	1	14	45
神山	6	0	0	17	22	16	0	5	0	7	28	95
よろこび	3	0	0	23	13	14	5	5	0	2	11	73
社協	2	0	0	13	9	1	0	7	0	10	32	72
合計	35	0	0	119	130	182	101	83	2	45	209	871
H29実績	34	0	0	131	110	224	62	68	6	42	334	977

\*医療機関の内訳

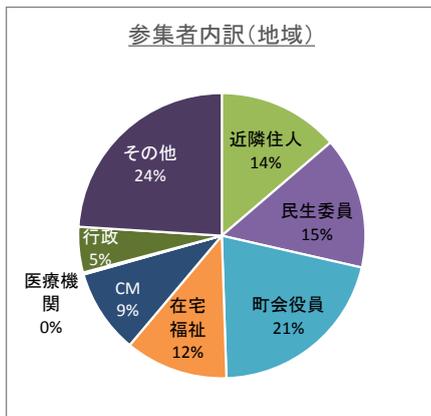
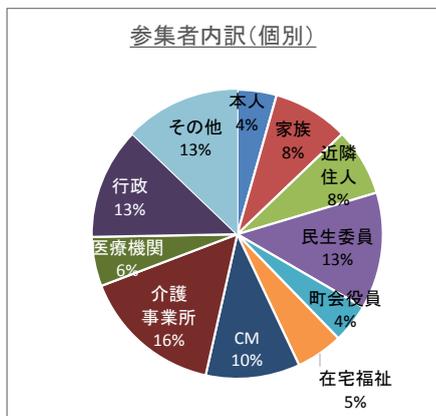
こんクリニック時任(理学療法士)、富田病院(医師)

\*行政の内訳

地域包括ケア推進課, 高齢福祉課, 総務部総務課(防災担当), 東部保健事務所, 恵山支所, 榎法華支所, 住宅都市施設公社

\*その他の内訳

介護保険事業所, 函館市医療・介護連携支援センター, 函館市在宅歯科医療連携室, 有料老人ホーム, 養護老人ホーム, ケアハウス, 函館社会福祉協議会, 第1層生活支援コーディネーター, 中央警察署, 駐在所・交番, 石川保育園, 桔梗小学校(教員), 北美原小学校(教員), 本通小学校(教員, PTA), 南本通小学校(小学生, 教員, PTA), 湯川小学校(教員), 桔梗中学校(教員), 深堀中学校(中学生, 教員), 函館稜北高等学校(教員), 函館養護高等学校(教員), 郵便局, 整骨院, 薬局, 製薬会社, 寺院, スーパー, その他民間事業所, お出かけリハビリ推進協議会, 漁協女性部, 青少年自立援助ホーム, 老人クラブ, ボランティア団体, マンション自治会, 自主活動グループ



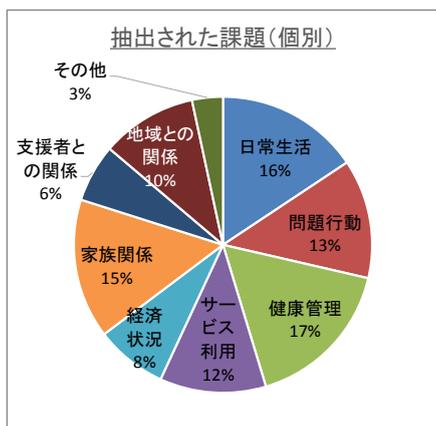
- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議の1回あたりの参加者数は、平成29年度の6.4人から5.6人と減少した。内訳をみると、本人、近隣住人、在宅福祉委員の参加者数が増えており、介護福祉関係者以外の方にとっても、身近な会議となってきたと考えられる。一方、医療機関の参加が半減している。個別ケースへの支援を通じた医療介護連携の場としても機能してきた経過があることから、減少の要因を分析し、必要な対応を行う必要があると考えられる。
- ・地域課題の検討を行う地域ケア会議でも、1回あたりの参加者数が平成29年度の28.7人から24.9人と減少したが、より具体的な検討を行うため小規模で開催するセンターが増えてきていることが影響していると考えられる。内訳をみると、地域住民やその他の参加者が増加している。特に、その他の参加者では、小学生や高校生、大学・専門学生の参加が年々増加しており、多世代交流の場としても活用されていると考えられる。また、介護支援専門員の参加も増えており、「地域とつながる」意識を持った介護支援専門員が増加していると考えられる。

#### (4) 地域ケア会議で抽出された課題

##### ① 個別ケースについての課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	日常生活	問題行動	健康管理	サービス利用	経済状況	家族関係	支援者との関係	地域との関係	その他	合計
あさひ	4	2	4	2	2	2	2	2	1	21
こん中央	6	4	4	4	3	5	1	3	1	31
ときとう	7	4	4	5	1	5	4	6	0	36
ゆのかわ	6	6	6	4	0	5	3	5	0	35
たかおか	0	3	5	3	2	4	1	2	2	22
西 堀	4	1	4	0	2	4	1	3	0	19
亀 田	5	5	6	3	5	4	2	2	2	34
神 山	5	5	4	3	2	5	0	3	2	29
よろこび	3	4	6	6	1	4	2	0	1	27
社 協	2	1	2	1	3	3	1	2	0	15
合 計	42	35	45	31	21	41	17	28	9	269
H29実績	26	18	35	19	16	28	5	22	6	175

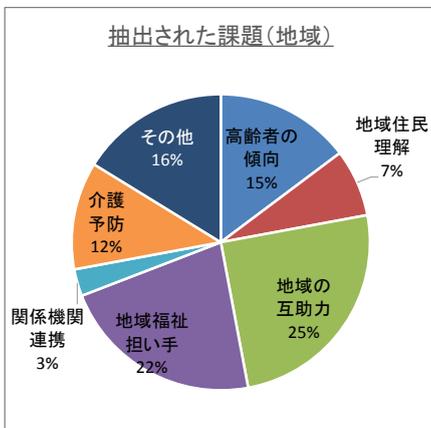


- ・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で抽出された課題は、平成29年度とほぼ同様の傾向で、適切に受診や薬物管理ができていないなど健康管理の問題や障がいをもつ家族や疎遠な家族など家族関係の問題、家事を適切に行えないなど日常生活上の問題に関する課題が多く抽出された。

②地域課題(延数・重複あり)

(件)

センター名	高齢者の傾向	地域住民理解	地域の互助力	地域福祉担い手	関係機関連携	介護予防	その他	合計
あさひ	0	1	0	0	0	0	0	1
こん中央	0	1	2	0	0	0	2	5
ときとう	0	0	1	0	0	1	2	4
ゆのかわ	1	3	3	1	2	0	1	11
たかおか	1	0	0	3	0	1	1	6
西 堀	3	0	3	2	0	3	1	12
亀 田	0	0	1	1	0	1	2	5
神 山	4	0	4	4	0	0	0	12
よろこび	1	0	2	2	0	1	0	6
社 協	0	0	1	2	0	1	2	6
合 計	10	5	17	15	2	8	11	68
H29実績	12	11	13	7	2	9	18	72



・地域課題の検討を行う地域ケア会議のテーマは多岐に渡っており、抽出された地域課題（個別ケースの検討も含む）もテーマによって様々で、特徴的なことはなかった。

## (5) 地域ケア会議で検討された解決策

### ① 個別ケースの検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	4	4	5	0	1	0	1	4	3	0	0	0	22
こん中央	3	5	3	1	1	2	3	5	3	0	0	0	26
ときとう	7	6	5	1	2	3	3	4	6	0	2	0	39
ゆのかわ	3	6	4	1	3	1	0	6	6	0	1	0	31
たかおか	5	3	1	1	1	2	2	2	2	0	1	1	21
西 堀	3	3	2	0	0	1	3	5	3	0	0	0	20
亀 田	4	6	4	0	0	2	1	3	3	0	0	1	24
神 山	6	4	2	0	0	5	0	4	4	0	0	1	26
よろこび	5	6	4	0	0	5	2	5	5	0	0	2	34
社 協	3	3	2	0	1	1	2	3	3	0	0	0	18
合 計	43	46	32	4	9	22	17	41	38	0	4	5	261
H29実績	24	21	35	—	4	19	19	28	26	0	0	15	191

・個別ケースの検討を行う地域ケア会議で検討された解決策としては、地域や関係者の見守り体制の構築、ネットワークの構築が大幅に増加しており、地域ケア会議を通してインフォーマルな資源も含めた支援体制を構築できたと評価できる。特に、近隣住人や在宅福祉委員の参加が増えたことから、地域住民同士、地域住民と関係機関のネットワーク構築が増加している。

### ② 地域課題の検討を行う地域ケア会議(延数・重複あり)

(件)

センター名	見守り体制 (地域)	見守り体制 (関係機関)	サービス等 調整	サービス 拡充	周知	家族への 支援	健康管理 支援	ネットワーク (関係機関)	ネットワーク (地域)	介護予防	地域づくり	その他	合計
あさひ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
こん中央	1	1	0	0	4	0	0	2	2	1	2	1	14
ときとう	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	6
ゆのかわ	0	0	0	0	3	0	0	3	3	0	3	0	12
たかおか	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
西 堀	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
亀 田	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	5
神 山	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	7
よろこび	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	4
社 協	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	5
合 計	4	2	0	0	12	0	0	8	11	6	8	11	62
H29実績	4	0	0	—	10	0	0	6	14	3	7	3	47

・地域課題の検討を行う地域ケア会議で検討された解決策として、地域住民への周知や地域住民同士および地域住民と関係機関のネットワーク構築が多い。地域づくりは平成29年度と同程度であるが、地域住民の意識の向上や新たな仕組みが生まれるなど、具体的な効果が見える地域も出てきており、効果的な会議が運営できていると評価できる。

・一方、地域課題の抽出にとどまり解決策の検討を行えなかったものや、解決策の検討は行ったものの具体的な検討には至っていないものもあり、地域ケア会議体系デザイン検討会において、実施方法や記録様式、地域課題についての考え方の検討を行った。また、平成30年度から、各センターで「日常生活圏域レベルの地域課題の整理」を実施し、センターが持つ様々な情報から地域課題の分析を行った。これまでと比べ課題の要因が明確になったことから、より効果的な地域会議の運営につながると考えられる。

## 2 住民等に対する広報・啓発活動

### ①地域ケア会議にかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	0	2
こん中央	1	11
ときとう	0	5
ゆのかわ	1	5
たかおか	3	2
西 堀	0	4
亀 田	1	2
神 山	0	3
よろこび	1	3
社 協	0	0
合 計	7	37
H29実績	17	37

### ②地域での見守りにかかる広報・啓発

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙・パンフレット 配布
あさひ	2	0
こん中央	0	11
ときとう	5	9
ゆのかわ	5	3
たかおか	4	3
西 堀	1	5
亀 田	3	2
神 山	2	11
よろこび	1	0
社 協	4	22
合 計	27	66
H29実績	24	41

・地域ケア会議に係る広報・啓発回数は、平成29年度に比べて減少したが、地域での見守りに係る広報・啓発回数は大幅に増加している。地域課題の検討を行う地域ケア会議においても、地域の見守り体制の構築について多く検討されており、地域住民の意識醸成のため積極的に周知活動を行っていると評価できる。

## 【任意事業】

### 1 住宅改修支援事業

#### (1) 住宅改修支援状況(延数)

(回)

センター名	支援回数
あさひ	16
こん中央	9
ときとう	11
ゆのかわ	19
たかおか	16
西堀	7
亀田	18
神山	27
よろこび	11
社協	21
合計	155
H29実績	197

#### (2) 住民に対する広報・啓発活動(延数)

(回)

センター名	出前講座 講師派遣	広報紙 パンフレットの配布
あさひ	0	0
こん中央	0	11
ときとう	3	10
ゆのかわ	0	4
たかおか	2	2
西堀	1	1
亀田	1	2
神山	0	2
よろこび	3	2
社協	3	22
合計	13	56
H29実績	12	22